

平成25年度

教育委員会

教育行政点検・評価報告書

(対象：平成24年度事業)

防府市教育委員会

平成25年11月



## は し め に

今日、少子・高齢化、国際化・情報化の進展など教育を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中、防府市教育委員会においては、《21世紀を「主体的にたくましく生き抜く力」と「豊かな人間性」、すなわち「生きる力」を備えた人材を育成する》ことを防府市教育の推進目標に掲げ、3つのキーワード「元気」、「つながり」、「変革」を教育推進の基本姿勢として、様々な重点施策に取り組んでまいりました。

こうした中、平成19年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

教育委員会では、毎年度、教育委員会各課における基本方針及び重点施策などを掲載した「防府の教育概要」を作成し公表するとともに、これらの事業の成果等についても検証を行ってきたところですが、この法律改正により、平成20年度からは、毎年、執行状況等を点検・評価し、「教育行政点検・評価報告書」として取りまとめ、公表することとしました。

更に、平成21年度からは、教育委員会で行った点検・評価に対して、学識経験者から貴重なご意見をいただいております。

昨年度から、点検・評価報告書の作成にあたり、評価基準をより明確に示すために、事業についての概要・実績等を「到達度」、「事業効果」、「効率性」、「方向性」の4項目で評価し、各項目の評価点数を基に4段階で総合評価する方法へ変更しました。

教育委員会としては、防府市教育の推進目標に沿った、教育委員会各課の重点施策がどのように展開され、どのような進捗状況にあるかを公表することにより、広くご意見をいただき、今後の教育行政に生かすとともに、教育政策立案を的確に行い、より良い教育行政の推進に努めてまいります。

# 目 次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| ■ 点検・評価基準について             | 1  |
| ■ 平成24年度教育委員会の重点施策等の点検・評価 |    |
| 1 教育総務課                   | 2  |
| 2 学校教育課                   | 6  |
| 3 生涯学習課                   | 21 |
| 4 文化財課                    | 32 |
| 5 スポーツ振興課                 | 37 |
| 6 図書館                     | 41 |
| ■ 学識経験者の総評                | 49 |

## ■ 点検・評価基準について

### 1 点検・評価の目的

防府市教育の推進目標に沿って、広範かつ専門的な教育行政事務が効果的に執行されているかを教育委員会自らが事後にチェックし、その活動を改善するとともに市民に対する説明責任を果たすことを目的とします。

### 2 点検・評価の対象

平成25年度の点検・評価対象は、平成24年度「防府の教育概要」に掲げている教育委員会の重点施策事業としました。

### 3 点検・評価の方法

事業についての概要・実績等を、「到達度」、「事業効果」、「効率性」、「方向性」で評価したうえで、事業の各評価項目の評価点数を基に総合評価のランク付けを行いました。

### 4 評価（評価の視点）

| 評価          | 到達度   | 事業効果   | 効率性   | 方向性   |
|-------------|---|--|---|---|
| 評価の視点<br>点数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>事務や事業の達成状況</li> <li>課題等への対応状況</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業の有効性</li> <li>本市教育への寄与度合</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>投入資源(経費、人材、時間)の妥当性</li> <li>経費削減の工夫</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後の事業展開方針</li> </ul> |
| 4点          | 事業を計画どおり実施し、事業の課題や改善策、懸案事項についても十分な対応ができた。                                       | 事業効果が非常に高く、他事業にも良好な波及効果を生じさせた。   | 経費削減の工夫がなされ、費用対効果が高かった。   | 有益な事業であるため、今後、事業を拡充して実施する                                   |
| 3点          | 概ね計画どおりに事業を実施できた。   | 事業実施により期待どおりの事業効果があった。   | 事業内容に相応の投入資源で、効率的に事業を実施できた。   | 今後も継続して事業を実施する。又は、事業目的を達成したため事業を終了する。                       |
| 2点          | 事業の実施状況にやや不十分な面があった。  | 期待していた事業効果にはやや達しなかった。  | 一定の事業効果を得るために必要以上の投入資源を要した。   | 事業内容の見直しが必要である。又は、今後、事業を縮小する。                               |
| 1点          | 計画していた事業の一部しか実施できなかった。  | 事業効果が低かった。   | 事業の効率性が低かった。  | 今後、事業を廃止する。   |

### 5 総合評価

| 評価 | AA     | A      | B     | C    |
|----|--------|--------|-------|------|
|    | 優良     | 良好     | 努力    | 反省   |
| 点数 | 16・15点 | 14～12点 | 11～9点 | 8～4点 |

■ 平成 24 年度教育委員会の重点施策等の点検・評価

〔 1 〕 教育総務課

◎ 基本方針

教育の様々な課題に柔軟かつ迅速に対応し、教育委員会及び教育部各課の連携のもとに円滑な教育行政の推進に努める。

また、学校施設は多くの児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、耐震化推進計画に基づく耐震補強事業を最優先して実施し、児童生徒が安全で安心のできる教育環境の確保を図る。

◎安全・安心な教育環境づくり

(1)安全・安心な施設整備、環境の確保

| 事 務 事 業         | 学校施設の耐震化   |
|-----------------|--|
| 事務事業概要          | <p>1 耐震補強事業</p> <p>①震補強計画・実施設計の完了した5校9棟について、耐震補強工事を実施する。</p> <p>②耐震化推進計画に基づき、4校6棟の耐震補強計画・実施設計委託を実施する。</p> <p>2 改築事業</p> <p>右田小学校校舎及び桑山中学校校舎の改築基本計画・実施設計を実施する。</p>                                      |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | <p>平成24年度実施予定の耐震補強工事については、同一敷地内に1～3棟ある建物を全て同一年に施工する計画としていたが、補強工事の内容によっては、学校生活に支障をきたすことが懸念されることから、2ヵ年に分けて施工することとなった学校があった。今後は、補強計画・補強設計を早めに実施することにより、補強工事の内容を把握し、学校生活に支障のないような施工計画を立てる必要がある。</p>        |
| 事務事業実績          | <p>1 耐震補強事業</p> <p>①5校9棟の耐震補強工事を実施した。</p> <p>華浦小学校…校舎1棟、華城小学校…校舎2棟、屋内運動場、佐波小学校…校舎1棟、昇降口2棟、富海中学校…校舎1棟、華陽中学校…校舎1棟</p> <p>②4校6棟の耐震補強計画・実施設計を実施した</p> <p>新田小学校…校舎2棟、昇降口1棟、中関小学校…校舎1棟、大道小学校…1棟、大道中学校…1棟</p> |

|                 |   |    |     |      |     |     |
|-----------------|---|----|-----|------|-----|-----|
|                 | <p>2 改築事業</p> <p>右田小学校校舎改築については、平成23年度に基本方針を決定し、平成24年4月より建設予定地の文化財発掘調査を行った。</p> <p>地下遺構については、出来るだけ破壊しないよう配慮することとし、学校施設整備委員会で基本的な考え方が出され、平成25年2月より、基本設計・実施設計業務を開始した。</p> <p>桑山中学校校舎改築については、防衛省の補助事業の前提条件となる騒音測定が実施された。</p> <p>その後、学校施設整備委員会で基本的な考え方が出され、11月より基本設計・実施設計業務を開始することとなった。</p> <p>両校ともに引き続き、平成25年度にかけて、設計を行い、平成25年度中の工事着手を実施したい。</p> |    |     |      |     |     |
| 評 価             | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A   | 13 | 3   | 3    | 3   | 4   |
|                 | <p>耐震補強工事については、平成24年度より主に校舎の工事となり、騒音等で学校生活に大きな影響を与えることが懸念されたが、施工時間の調整等により順調に工事を進めることが出来た。</p> <p>改築事業については、関係機関との調整、地元への説明により、事業の実施を本格的に進めることが出来るようになった。</p>  |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | <p>それぞれの工事を順調に進めていくには、学校関係者、地元の方々への十分な説明が必要となってくるものと思われる。</p> <p>また、耐震補強工事による耐震化については、平成27年度には完了できることとなったものの、改築による耐震化については、平成30年度としており、今後、出来るだけ早い時期での完了を再検討する必要がある。</p>   |    |     |      |     |     |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 事務事業            | トイレの洋式化   |
| 事務事業概要          | 校舎のトイレの洋式化率は、平成23年度末で小学校17.6%、中学校12.3%となっており、24年度は、小学校3校、中学校2校について、洋式トイレを設置する。  |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 児童生徒のトイレを優先して洋式化を進めているが、教職員のトイレは来客者等が利用するトイレでもあるので、教職員のトイレの洋式化も併せて進める必要がある。   |
| 事務事業実績          | <p>勝間小学校2基、松崎小学校4基、玉祖小学校4基、国府中学校4基、大道中学校2基の児童生徒用洋式トイレを設置した。このことにより、校舎の児童・生徒用トイレの洋式化率は、平成24年度末で小学校19.1%、中学校14.1%となった。</p> <p>また、併せて勝間小学校2基、国府中学校2基、大道中学校2基の教職員用洋式トイレを設置した。</p> |

|                         |  |     |     |      |     |     |
|-------------------------|--|-----|-----|------|-----|-----|
| 評 価                     | 総合評価   |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A  | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | 概ね計画どおり実施し、併せて教職員用トイレの洋式化も実施した。  |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 引き続き、児童生徒のトイレを優先して洋式化を進めていくが、教職員用トイレは来客者等が利用するトイレでもあるので、教職員用トイレの洋式化も併せて進めていく必要がある。 |     |     |      |     |     |

|                         |   |     |     |      |     |     |
|-------------------------|---|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | 学校施設の整備   |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 児童生徒の安全確保に向け、老朽化した施設の整備改善及び適正かつ迅速な維持管理を進める。   |     |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | —   |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | <p>小・中学校における安全安心な教育環境を確保するため、施設の老朽化に対する改修工事等を行った。</p> <p>勝間小学校フェンス等設置工事<br/> 富海小学校教室棟給水管改修工事<br/> 牟礼南小学校渡り廊下改修工事<br/> 佐波中学校武道館屋根改修工事<br/> 佐波中学校北校舎防水改修工事<br/> 小野中学校屋内運動場雨漏り改修工事<br/> 牟礼中学校教室棟防水改修工事<br/> 牟礼中学校第2理科室新設工事</p> |     |     |      |     |     |
| 評 価                     | 総合評価  |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A   | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | 安全・安心な教育環境を確保するため、老朽化した施設に対する改修工事等を行った。<br>また、熱中症予防などの暑さ対策として、壁掛型扇風機を普通学級・特別支援学級の各教室に4台ずつ設置する予算を12月補正で計上した。   |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>学校施設は学習の場にふさわしい多様な機能を備え、安全・安心に過ごすことができるように整備されている必要があるが、現状は、老朽化、バリアフリー化、多様な学習活動等への対応など様々な課題を抱えている。</p> <p>学校施設を健全な状態に保つために、現場の状況を把握し、緊急性が高いものなど優先順位をつけて事業を実施する必要があり、中長期的な整備計画等が必要。</p>                                   |     |     |      |     |     |

◎学校教育の質の向上

(1)教育振興基本計画の策定

|                 |  |    |     |      |     |     |
|-----------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 教育振興基本計画の策定  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 防府市の教育行政を総合的かつ計画的に推進するため、教育振興基本計画の策定に着手し、平成25年度中の計画策定を目指す。   |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | —  |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 防府市教育振興基本計画策定委員会ならびに防府市教育振興基本計画策定庁内委員会の設置・開催を実施し、計画案作成に着手した。<br>防府市教育振興基本計画策定委員会の開催 3回<br>防府市教育振興基本計画策定庁内委員会の開催 3回 |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 12 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                 | 計画案作成に着手し、概ね計画通りに進捗している。   |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 引き続き策定委員会等を開催し、計画案を策定する。また、広く意見を取り入れるため、パブリックコメントを実施し、平成25年度末までに計画の策定を完了する。  |    |     |      |     |     |
| 学識経験者の意見        | 4つの事務事業のすべてが総合評価Aを得ているように、良好な成果があがっている。学校施設の耐震化については、課題として認識されてもいるが、できるだけ早く完了するよう努められたい。                           |    |     |      |     |     |

## 〔2〕 学校教育課

### ◎ 基本方針

学校教育を生涯学習の基礎としてとらえ、「豊かな人間性」と「確かな学力」、そして「健康・体力」を備えた児童生徒の育成をめざした教育を推進する。

### ◎ 学校教育の質の向上

#### (1) 心の教育の充実

|                         |  |    |     |      |     |     |
|-------------------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | 道徳教育の充実  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 「地域素材を生かした道徳教育の資料集」などの活用を促進し、道徳教育の充実を図る。   |    |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 「地域素材を生かした道徳資料」が、道徳の時間年間計画に確実に位置づけられるよう、指導の継続及び確認が必要である。<br>西浦小学校の道徳教育の研究の成果を市内へ波及させる必要がある。  |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 平成20年度に各小・中学校において作成された「地域素材を生かした道徳教育の資料集」の活用に向けて、学校訪問等で各校に対して本資料の道徳の時間年間計画への位置づけを指導徹底した。<br>西浦小学校が「やまぐちっ子の心を育む道徳教育プロジェクト」推進校としての2年間の道徳教育の研究の成果を広く発表した。 |    |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A  | 12 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | 各校において、「地域素材を生かした道徳資料」が道徳の時間年間計画に位置づけられた。資料を用いることで、地域の伝統・文化を大切にする心情を養う等のねらいを達成するための道徳授業の実践をより積極的に行うことができるようになった。<br>外部講師を招聘するなどして西浦小学校の道徳教育研究が推進された。   |    |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 「地域素材を生かした道徳資料」が、道徳の時間年間計画に確実に位置づけられるよう、指導の継続及び確認が必要である。<br>西浦小学校の道徳教育の研究の成果を更に波及させる必要がある。   |    |     |      |     |     |

|                 |   |    |     |      |     |     |
|-----------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 人権教育の充実   |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 小・中学校人権教育主任研修会の開催や実践事例を中心とした研究成果を防府市教職員研究ガイドで周知するなど、人権教育の充実を図る。   |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 県から新たな人権教育の施策が示された。今後、この内容の周知徹底に向けた研修会の実施が必要である。  |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | <p>県や市主催の人権教育研修会へ参加を積極的に促した。</p> <p>防府市教職員研究紹介に、防府市内小・中学校での人権教育の取組事例や研究成果・課題等をまとめたものを掲載し、各小・中学校へ配布することができた。</p>                                   |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A   | 12 | 3   | 3    | 3   | 3   |
| 評価              | 多くの教職員に対して、県や市の人権教育施策の浸透を図ることができた。各校における具体的な取組事例を掲載することで、他校の取組を参考に自校の人権教育の取組を検証・改善するための情報を提供することができた。   |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | <p>県や市主催の人権教育研修会への参加を積極的に呼びかける必要がある。</p> <p>「山口県人権推進指針」「山口県人権教育推進資料」を各学校の人権教育全体計画及び人権教育年間計画に反映させるよう積極的に呼びかけるとともに、県教委作成の「学習展開例」の活用を呼びかける必要がある。</p> |    |     |      |     |     |

|                 |   |    |     |      |     |     |
|-----------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 伝統や文化に関する教育の充実  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 防府市中学校文化連盟への支援や関係部署との連携による学校支援を行うことにより、伝統や文化に関する教育の充実を図る。   |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | —   |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 防府市中学校文化連盟主催の総合文化祭等を支援した。また、小学校8校、中学校4校が学校で芸術鑑賞会を実施した。  |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A   | 12 | 3   | 3    | 3   | 3   |
| 評価              | <p>防府市中学校文化連盟への支援を行うことで、防府市内の各中学校の文化活動を広く防府市民に紹介するとともに、各校文化活動の発表及び防府市内各中学校の文化活動を行っている生徒の交流の場をもつことができた。</p> <p>また、学校での芸術鑑賞会により、本物の芸術に触れるよい機会をもつことができた。</p> |    |     |      |     |     |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 防府市中学校文化連盟への支援や関係部署との連携による学校支援を行うことにより、伝統や文化に関する教育の充実を図る。 |
|-------------------------|---|

(2)キャリア教育の充実

|                         |  |     |     |      |     |     |
|-------------------------|--|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | キャリア教育の視点に立った進路指導の充実   |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 防府市キャリア教育推進研究プロジェクトの研究成果を生かし、児童生徒の発達段階に応じた組織的・計画的な勤労観・職業観の育成を図る。                 |     |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 小・中9年間のスパンを見通しながら勤労観・職業観を育成するためには、小・中連携によるキャリア教育全体計画の作成が求められる。                   |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 校種、児童生徒の発達段階や各学校の実態・特色ある教育活動等に応じて、全ての学校において、キャリア教育全体計画の見直しと修正がなされた。              |     |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価   |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A  | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | 市内全ての小・中学校で、キャリア教育全体計画の見直しと修正がなされたことで、組織的・計画的に勤労観・職業観の育成が図られた。このことは、一定の評価が認められる。 |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | キャリア教育全体計画による実践から、問題点等を見直しを図るとともに、積極的な職場見学や職場体験学習等体験学習の推進が必要である。                 |     |     |      |     |     |

|                         |   |     |     |      |     |     |
|-------------------------|---|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | 実践的・体験的な学習活動の推進   |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 商工会議所・職場体験学習受入事業所等との連携協力体制を構築し、社会見学・職場体験学習・福祉体験学習等の充実を図る。                 |     |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 職業観や勤労観の更なる育成に向けて、小学校においてさらに職場体験学習の充実を図っていく必要がある。                         |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 市内の中学校全11校と小学校の4校の計15校、1,017名が職場体験を実施した。                                  |     |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価  |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A   | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | 職業観や勤労観の育成の一環として、防府市内全ての中学校が、職場体験学習を実施しており、小学校においても近年職場体験学習に取り組むようになってきた。 |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 職業観や勤労観の更なる育成に向けて、老人ホームや介護施設における福祉体験学習等への積極的な参加を呼びかける。                    |     |     |      |     |     |

|                 |  |    |     |      |     |     |
|-----------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 小・中学校の連携及び家庭・地域との連携強化  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | コミュニティ・スクール事業を推進することにより、保護者や地域の人材を有効に活用した学習活動を推進する。  |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | コミュニティ・スクールの趣旨や設置の意図が教職員、保護者に十分に周知されていないので、保護者説明会や説明資料の作成、配付が必要である。<br>また、各校の地域連携担当者への研修を実施して、学校内のコミュニティ・スクールの推進役の育成が必要である   |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 平成24年度、全小・中学校に学校運営協議会を設置して、コミュニティ・スクールに指定した。学校支援ボランティアなどの地域の人材を活用し、学校を支援するしくみを構築することによって、学校教育課の重点目標、「家庭地域との連携強化」「学校の教育力の向上」をめざし、各学校で特色ある取組を行っている。学校の地域連携担当者と学校運営協議会委員や公民館関係者の研修会を開催し、教職員の意識向上とコミュニティ・スクールの周知を図るとともに、学校・家庭・地域の三者の連携方法について見識を深めることによって、「開かれた学校づくり」を推進している。 |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 13 | 3   | 3    | 3   | 4   |
|                 | 全小・中学校をコミュニティ・スクールに指定したことで、学校支援ボランティアや地域の人材を活用した活動等、学校を支援する体制が整いつつある。教職員や家庭・地域にコミュニティ・スクールについて周知を図ることによって、教職員の意識向上と家庭・地域の学校理解が進んだ。また、学校・家庭・地域の三者の連携が強化された。   |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 学校・家庭・地域の三者の連携をより強固なものにするために、地域連携担当者と学校運営協議会委員、公民館関係者の研修の機会を増やす必要がある。さらに、コミュニティ・スクールの取組を進めるために、各学校の実情に応じて、地域から学校への支援を積極的に取り入れる。  |    |     |      |     |     |

### (3) 生徒指導の充実

|                 |  |
|-----------------|--|
| 事務事業            | 積極的な生徒指導の推進  |
| 事務事業概要          | 小・中合同生徒指導主任研修会や小・中合同教育相談担当者研修会などの開催により、緻密な情報連携に基づいた生徒指導体制づくりに努める。  |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | スクールカウンセラーやスクール・ソーシャルワーカーの活用について事例検討をとおして更なる周知を図ることにより、生徒指導上の課題に対して積極的に活用することで、課題への早期対応、早期解決に結びつける。小・中連携の促進を図ることによって、生徒指導上の課題の未然防止につなげる。 |

|                 |   |    |     |      |     |     |
|-----------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業実績          | 生徒指導主任研修会、教育相談担当者研修会を開催し、生徒指導における指導方針の明確化や共通理解を図り、いじめや暴力行為などの早期発見、早期対応のための情報提供により、各学校の組織的な生徒指導体制づくりを行った。また、生徒指導総合研修会の開催により、学校の現状を地域の関係機関の方に周知することにより、地域との連携も含めた生徒指導体制の構築を図った。 |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A   | 13 | 3   | 3    | 4   | 3   |
| 評価              | 生徒指導主任や教育相談担当者に対して、具体的な事例を示すことによってスクールカウンセラーやスクール・ソーシャルワーカーの活用について周知することができた。そのため、いじめや暴力行為、不登校などの未然防止、早期発見・早期対応のための積極的な取組が多くみられるようになった。                                       |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 昨年度から児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題が増加傾向にあり、今まで以上に小・中連携による生徒指導の推進やスクールカウンセラーやスクール・ソーシャルワーカーの積極的な活用が求められる。  |    |     |      |     |     |

|                 |  |    |     |      |     |     |
|-----------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 学校内外と連携した問題行動への対応  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | サポートチーム等、関係機関との情報・行動連携の強化を図り、生徒指導上の諸問題に迅速・適確に対応する。また、在宅生徒学習指導員による不登校児童生徒への学習支援を行う。   |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 虐待などの養育問題が増加傾向にあるとともに、それぞれの問題が複雑化し、課題が多岐にわたっているため、解決が困難な事案が多く、関係機関との連携及び迅速な対応が今まで以上に求められている。また、臨床心理士やスクール・ソーシャルワーカーの介入を今まで以上に積極的に行う。きめ細かな支援のため、在宅学習指導員の増員による支援回数の増加を図る。                              |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 不登校やいじめの問題、暴力行為、虐待などの養育問題等、生徒指導に係る諸問題についての解決策等を協議するとともに、状況に応じて関係機関の連携による適切な対応を図るために、「防府市生徒指導問題対策協議会」を設置し、問題行動への対応方法及び防止のための活動を行った。個別の事案に対しては、児童生徒の状況に応じ、学校、教育委員会及び関係機関が連携して対応する「緊急サポートチーム」を編成して対応した。 |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 13 | 3   | 3    | 3   | 4   |
| 評価              | 必要に応じてサポートチーム会議を開催することで、不登校やいじめ、暴力行為や児童虐待などの諸問題の未然防止や早期対応が図られた。また、臨床心理士やスクール・ソーシャルワーカーの介入により、改善に向かうケースも見られた。   |    |     |      |     |     |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 児童生徒の発達障害や虐待などの養育問題が増加傾向にあり、各学校における問題が複雑化し、課題解決に向けより一層関係機関との連携が必要になっている。そのなかで、臨床心理士やスクール・ソーシャルワーカーの役割が重要であり、増員による充実した相談・支援体制の構築を図る必要がある。 |
|-------------------------|--|

|                         |   |    |     |      |     |     |
|-------------------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | きめ細かな不登校対策の推進   |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 教育支援センター「オアシス教室」専任指導員 及び生活・安心相談員が各学校の不登校対策の支援を行う。   |    |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 不登校児童生徒の更なる減少を図るために、生活・安心相談員の巡回相談の回数を増加するなど、学校への助言や家庭への支援を今まで以上に積極的に行う必要がある。保護者や学校に対して、親の会や相談室カウンセリングの周知を行い、不登校児童生徒への対応などの情報を提供する。            |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 専任指導員を市の非常勤職員として3名雇用し、不登校児童生徒に対しての指導を行った。また、不登校やいじめ等の学校教育に関する相談が増加傾向にあり、電話相談だけでなく、学校への助言や家庭への支援も含めた生活相談員を1名配置して、課題の発見・解消及び予防をめざし、きめ細かな対応を行った。 |    |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A   | 12 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | 様々な要因を抱える不登校児童生徒にとって、学力の保障、人間関係の再構築等、学校復帰を目的とした本事業の担っている意義は非常に大きい。通室児童生徒も増加しており、更なる教育支援センターの機能の拡充が望まれる。生活・安心相談員による学校への助言や家庭への支援は効果が見られた。      |    |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 生活・安心相談員の巡回相談の回数を増加したり、教育支援センター「オアシス教室」を勧めたりすることで、不登校児童生徒に対してより一層きめ細かな支援体制の充実が求められる。  |    |     |      |     |     |

#### (4) 学習指導の充実

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 事務事業                    | 児童生徒の実態に応じた指導計画の作成   |
| 事務事業概要                  | 全国学力・学習状況調査や標準学力検査、知能検査などの結果分析に基づき、学力向上プランの改善を図り、学力向上に努める。   |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 全国学力・学習状況調査や標準学力検査、知能検査などについて、全校体制で具体的に結果分析をする必要がある。また、結果分析に基づいた学力向上のための方策について、家庭と連携しながら推進していく必要がある。 |

|                 |  |    |     |      |     |     |
|-----------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業実績          | 4月、9月に学力・学習状況調査を実施した。標準学力検査については、小学校第4学年、中学校第1学年において実施した。知能検査については、小学校第2・5学年において実施した。            |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 13 | 3   | 3    | 3   | 4   |
| 評価              | 研修主任研修会や学力向上担当者研修会において、学力状況調査結果を受けて課題解決のための取組について協議し、各学校の学力向上プランの改善を図ることができた。                    |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 全国学力・学習状況調査や標準学力検査については、誤答分析等、より細かな結果分析を行い、授業改善につなげていくことが大切であろう。また、学習規律や家庭学習の充実についても協議していく必要がある。 |    |     |      |     |     |

|                 |  |    |     |      |     |     |
|-----------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | <b>指導体制の充実及び指導方法の工夫改善</b>  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 少人数指導等によるきめ細かな指導体制及び授業技術・指導方法の向上を目指した授業研究や授業評価の研修の充実を図る。   |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 少人数指導においては、習熟度別指導について一層積極的に取り組む必要がある。また、学力向上に向けた授業改善につながるよう、授業評価に組織的かつ計画的に取り組む必要がある。                                       |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 研修主任研修会において、研究協議会の運営の工夫や児童生徒による授業評価の組織的取組の必要性について説明し、協議を行った。   |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 12 | 3   | 3    | 3   | 3   |
| 評価              | 研修主任研修会において、日々の授業改善につながる研究協議会の充実について協議をしたり、効果的な研究協議プランを作成する演習をしたりすることにより、研究協議会の内容を深めること、日々の授業への還元を視野に入れた運営を行うことなどの意識が高まった。 |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 学校としての組織的な研修体制を構築するために、研修主任の適切なリーダーシップと管理職との連携について意識を高める必要がある。研修主任研修会において学習指導案の読み方や授業分析の仕方等、具体的な講義や演習を実施したい。               |    |     |      |     |     |

|        |  |  |  |  |  |
|--------|--|--|--|--|--|
| 事務事業   | <b>総合的な学習の時間や読書活動の充実</b>   |  |  |  |  |
| 事務事業概要 | 総合的な学習の時間等では教科の学習で身につけた知識や技能を活用する探求活動の場を工夫する。また、学校図書館司書を配置し、学校における読書活動を推進する。 |  |  |  |  |

|                         |   |    |     |      |     |     |
|-------------------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 「朝の読書」に活用する図書の質については、改善しようとする取組もあるが、依然として質の向上が求められる。                                  |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 学校図書館司書を市内全小学校に派遣し、主に児童への学校図書館の利用指導、読書指導、読み聞かせ、新刊図書の紹介等掲示物の作成、図書便りの発行、貸し出し、返却指導等を行った。 |    |     |      |     |     |
| 評 価                     | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A   | 13 | 3   | 3    | 3   | 4   |
|                         | 学校図書館司書が訪問時に本の紹介や読み聞かせを積極的に行い、図書館内の環境整備をすることで、学校図書館を利用する児童数、貸出冊数が増加した。                |    |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 学校図書館司書の巡回により、連携を強化し、読書の質の向上をめざす。学校図書館管理システムの導入に向けての諸整備を行う。                           |    |     |      |     |     |

#### (5) 特別支援教育の充実

|                         |   |    |     |      |     |     |
|-------------------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | 支援体制の充実   |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 学校支援員の配置や幼児通級指導教室など、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する校内支援体制を充実する。  |    |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 各学校の実態を把握し、学校・学級が落ち着いて学習できる場を提供する。そのために、支援員の大幅な増員を図る。また、幼児通級指導教室についても、個々の教室での学びが充実するように教室環境及び教材の充実を図る。  |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | <p>小学校に39名、中学校1名の学校支援員を配置し、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する学習支援、健康や安全の確保、運動会や校外活動等の学校行事における支援を行った。</p> <p>また、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する理解を促進するとともに、支援の技能を向上させるため、学校支援員研修会を開催した。</p> <p>幼児通級指導教室について、佐波小学校幼児部37名、華浦小幼児部38名を指導した。</p> |    |     |      |     |     |
| 評 価                     | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A   | 12 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | <p>配置された学校支援員は、学校・学級の安定化に大きく寄与している。特別な教育的支援を必要とする児童生徒の数や実態から、支援員の増員が強く望まれている。</p> <p>それぞれの幼児通級指導教室での個別指導により、個々の児童の状況が好転している。また、保護者との連携がより高まっている。</p>  |    |     |      |     |     |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 各学校の実態を把握し、学校・学級が落ち着いて学習できる場を提供する。そのために、学校支援員の大幅な増員を図る。また、幼児通級指導教室についても、教室での個々の学びが充実するように教室環境及び教材の充実を図る。 |
|-------------------------|--|

|                         |  |            |     |      |     |     |
|-------------------------|--|------------|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | <b>指導方法の工夫改善</b>   |            |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 幼保・小・中学校の相互連携により特別な教育的支援を必要とする児童生徒への理解を深め、児童生徒の個に応じた指導方法の工夫・改善を図る。   |            |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 指導体制や指導方法について、より具体的に協議できる場をもつ。また、児童生徒の情報交換がより円滑に行えるような環境整備を行う。また、コミュニティ・スクールの指定により、より連携が深まるような工夫を考え実践する。   |            |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | <p>年1回、幼稚園や保育園(所)の職員と小学校1年生担任等が協議できる幼保・小連携教育研修会を実施した。また、職員同士の連絡会や授業参観、子ども同士の交流が年間を通じて1回以上実施された。</p> <p>小・中学校においても、生徒指導主任会において連携した協議を行ったり、各中学校区単位で年間1回は連携を目的とした合同研修会を実施したりした。</p> |            |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価   |            | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | <b>A</b>   | <b>1 2</b> | 3   | 3    | 3   | 3   |
| 評価                      | 連携研修会や連絡会等の実施が年間1回は必ず実施されることにより、互いの指導方法のよさを知ることができた。また、指導方法を互いの校種の特性に応じて取り入れた指導を行うことができた。  |            |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 児童生徒の情報交換がより円滑に行えるような環境整備を行う。また、コミュニティ・スクールの指定により、より連携が深まるような工夫を考え実践する。  |            |     |      |     |     |

|                         |   |  |  |  |  |
|-------------------------|---|--|--|--|--|
| 事務事業                    | <b>関係機関との連携による適正な就学指導の実施</b>  |  |  |  |  |
| 事務事業概要                  | 就学相談のために園や学校への巡回訪問を実施するとともに、防府市就学指導委員会を開催し、適正な就学指導を推進する。  |  |  |  |  |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 関係機関との連携による就学指導体制の充実を図り、適正な就学指導を推進する。   |  |  |  |  |
| 事務事業実績                  | 障害のある児童生徒、また、障害の可能性のある児童生徒に対して、適正な教育措置を講ずるために、市内の特別支援学級設置校の校長、担任教員などを委員とする防府市就学指導委員会を設置し、必要となる調査・検査・診断に基づいた適正な就学指導を行った。 |  |  |  |  |

|                         |  |     |     |      |     |     |
|-------------------------|--|-----|-----|------|-----|-----|
| 評 価                     | 総合評価   |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A  | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | 就学先の決定は、教育委員会の責任で行なわれるべきものであり、障害のある児童生徒の就学に関しては、就学指導委員会において、専門的な立場から障害の種類、程度等を勘案して適正な協議・判断がなされた。 |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 関係機関との連携による就学指導体制の充実を図り、適正な就学指導を推進する。  |     |     |      |     |     |

#### (6) 社会の変化に対応した教育の推進

|                         |  |     |     |      |     |     |
|-------------------------|--|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | コミュニケーション能力を育む教育の推進  |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 小・中学校へALTを派遣し、外国語に慣れ親しませることで、コミュニケーション能力の素地を養う。  |     |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 新たな外国語活動教材である“Hi, friends!”を活用した指導計画の見直しを図るとともに、外国語指導助手の指導補助のあり方について検討する必要がある。               |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 6名の外国語指導助手を雇用し、小学校5・6学年および中学校全学年への外国語活動及び中学校全学年への指導補助、レクシンプラン作成等の教材研究補助を行った。                 |     |     |      |     |     |
| 評 価                     | 総合評価   |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A  | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | 外国語指導助手の派遣により、言語や文化に対して体験的に理解すること、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うこと、外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみを図ることができた。 |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 外国語活動教材“Hi, friends!”の更なる活用とともに、外国語指導助手の指導補助のあり方について検討する必要がある。                               |     |     |      |     |     |

|                         |   |  |  |  |  |  |
|-------------------------|---|--|--|--|--|--|
| 事務事業                    | 情報教育の充実   |  |  |  |  |  |
| 事務事業概要                  | 情報収集・活用・発信に関する基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。   |  |  |  |  |  |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 毎年、情報教育の担当者が同じとは限らない。平成24年度から市内全ての学校がコミュニティ・スクールに指定されることから、情報公開がこれまで以上に積極的に行われることが考えられる。そこで、ホームページ作成に関する研修会を今後も継続実施していく必要がある。 |  |  |  |  |  |

|                 |   |    |     |      |     |     |
|-----------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業実績          | 市内で既にコミュニティ・スクールに指定され、ホームページを開設している学校のホームページ担当者を講師に招き、情報教育研修会を開催した。                             |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | AA  | 16 | 4   | 4    | 4   | 4   |
|                 | 実際のホームページをもとに、作成や更新に必要な事柄についての説明及び質問がなされ、各校に意義ある情報を提供することができた。                                  |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 市内全学校のコミュニティ・スクール指定を受けて、ホームページ作成や管理に関する研修会を継続実施していきたい。あわせて、高度情報化社会に対応した情報モラルにかかわる研修を充実させる必要がある。 |    |     |      |     |     |

|                 |  |    |     |      |     |     |
|-----------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | <b>環境教育の充実</b>   |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 防府市「こども環境白書～防府版～」を活用し、環境保全やよりよい環境の保全のために、主体的に行動する実践的な態度、能力等を育成する。                                      |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 児童生徒が主体的に環境問題に関わろうとする態度と意識の高揚に向けて、学校の実情に応じた具体的な体験活動の場を増やすため、総合的な学習の時間や各教科の枠を越えた教育課程への位置づけがさらに必要となっている。 |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 地球温暖化問題の主要因である二酸化炭素の排出量削減を身近な生活の中で実践するなど、子どもたちの環境意識の醸成を図った。  |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 12 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                 | 市内の2小・中学校が平成24年度「やまぐちエコリーダーズスクール」に認証された。全校体制での環境教育への取組が認められる機会となっている。                                  |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 児童生徒が主体的に環境問題に関わろうとする態度と意識の高揚に向けて、学校の実情に応じた具体的な体験活動の場を増やすため、総合的な学習の時間や各教科の枠を越えた教育課程への位置づけがさらに必要である。    |    |     |      |     |     |

#### (7)健康教育の充実

|        |  |  |  |  |  |
|--------|--|--|--|--|--|
| 事務事業   | <b>食に関する指導の充実</b>                                |  |  |  |  |
| 事務事業概要 | 地場産物を活用し、地域に根ざした食育を推進するとともに、食に関する研修会などへの参加促進を図る。 |  |  |  |  |

|                                  |   |                   |            |             |            |            |
|----------------------------------|---|-------------------|------------|-------------|------------|------------|
| <p>平成23年度<br/>事業の課題<br/>・改善策</p> | <p>地場産物の活用については、県農林事務所、JA、青果市場などとの連携を強化し、より一層地場産食材の利用率の向上を図る。</p> <p>PEN食器への更新は、未更新校から強い要望があり、食育指導の観点からも早期実現に向けて予算要求を行う。</p> <p>今後の給食のあり方については、平成25年度玉祖小学校、平成26年度右田小学校の給食調理等一部業務委託実施後に検討する。</p> <p>栄養職員に食に関する指導の具体的な指導の研修の機会を提供し、より一層栄養職員の資質向上を図る。</p>  |                   |            |             |            |            |
| <p>事務事業実績</p>                    | <p>給食物資については、JA等と連携を図り地場産食材を活用し、郷土料理・季節毎の行事食などを献立に取り入れた。また、毎月、食に関する指導などを掲載した給食だよりを保護者へ配付し、食育の推進を図った。</p> <p>また、栄養教諭など学校給食に携わる職員は、県、市主催の研修会に積極的に参加し、望ましい食生活のあり方などについて児童生徒へ指導した。</p> <p>今年度、松崎小学校、新田小学校、牟礼小学校の給食食器をPEN食器に更新し、枚数も碗2枚と皿1枚の計3枚とした。来年度以降も施設の改善を含め、順次計画的に実施する予定。</p> <p>給食調理等一部業務委託については、牟礼南小学校を開始し、現在8小学校と1共同調理場の委託実施となった。</p> <p>平成25年度から実施予定の玉祖小学校についても、保護者・教職員等に対する理解啓発などを行い、新年度からの稼働準備を進めた。</p> |                   |            |             |            |            |
| <p>評価</p>                        | <p>総合評価</p>   |                   | <p>到達度</p> | <p>事業効果</p> | <p>効率性</p> | <p>方向性</p> |
|                                  | <p><b>A</b></p>   | <p><b>1 2</b></p> | <p>3</p>   | <p>3</p>    | <p>3</p>   | <p>3</p>   |
| <p>平成24年度<br/>事業の課題<br/>・改善策</p> | <p>地場産物の活用については、県農林事務所、JA、青果市場などとの連携を強化し、より一層地場産食材の利用率の向上を図る。</p> <p>PEN食器への更新は、未更新校から強い要望があり、食育指導の観点からも早期実現に向けて予算要求を行う。</p> <p>今後の給食のあり方については、平成26年度右田小学校の給食調理等一部業務委託実施後に検討する。</p> <p>栄養教諭等へ、食に関する具体的な指導の研修の機会を提供し、より一層栄養教諭等の資質向上を図る。</p>  |                   |            |             |            |            |

|                         |  |     |     |      |     |     |
|-------------------------|--|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | <b>体力向上のための望ましい運動習慣の定着</b>   |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 体力テストの分析結果に基づき、体力向上プランの改善を図り、児童生徒の体力向上に努める。  |     |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 児童生徒の体力向上に向けて、各校のこれまでの結果分析からその学校の児童生徒の体力の傾向をとらえ、単年ではなく継続的な取組が求められる。                                  |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 児童生徒の体力に関する課題把握及び解決に向けて、全ての小・中学校で新体力テストを実施し、1校1取組に取り組むことができた。  |     |     |      |     |     |
| 評 価                     | 総合評価   |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A  | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
| 評 価                     | 児童生徒の体力向上の成果について、即効性を求めることはできない。体力向上という目的を達成するためには、各校の継続的な取組が必要であるが、課題が明確となり解決策がとられていることは、一定の評価ができる。 |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 体力向上プランによる1校1取組や、地域人材の活用による外部指導者の派遣等により、児童生徒が運動の楽しさを実感し、進んで運動に取り組めるよう、学校・家庭・地域が一体となり取り組む必要がある。       |     |     |      |     |     |

|                         |   |     |     |      |     |     |
|-------------------------|---|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | <b>健康な生活を送ろうとする実践力を育てる指導の充実</b>   |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 地域の専門家派遣事業の活用などにより、家庭・地域・関係機関との連携を強化し、指導の充実を図る。また、全小学校において、実施希望児童を対象にフッ化物洗口を実施する。                               |     |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 校内体制のさらなる充実と、家庭・地域・関係機関との連携をより強化し、指導の充実を図る。また、フッ化物洗口の実施率を高めるため、引き続き、保護者への周知に努める。                                |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 全小・中学校で、薬物乱用防止教室を実施した。また、全小学校において、実施希望児童を対象に週1回フッ化物洗口を実施し、むし歯予防の意識の向上を図った。                                      |     |     |      |     |     |
| 評 価                     | 総合評価  |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A   | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
| 評 価                     | 薬物乱用防止教室の実施により、健康な生活を送ろうとする自己管理能力を高めることができた。また、健康教育の推進において中心的な役割を担う保健主任の意識向上を図ることができた。<br>フッ化物洗口の実施率は98.7%であった。 |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 全小・中学校で、薬物乱用防止教室を実施した。新たに中学校の指導要領に加わった薬教育にも取り組んでいく必要がある。また、フッ化物洗口の実施率を高めるため、引き続き、保護者への周知に努める。                   |     |     |      |     |     |

(8) 安全教育の充実

|                         |   |     |     |      |     |     |
|-------------------------|---|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | 児童生徒の自己管理能力と危機予測・回避能力の向上  |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 警察と連携した交通安全教室や火災・自然災害・不審者想定訓練など、学校安全計画に基づいた安全指導を推進する。   |     |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 国と県のスクールガードリーダーの予算が半減されることから、スクールガードリーダーの巡回訪問回数を見直す必要がある。   |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | <p>県警による交通移動教室を小学校4校中学校5校、防府警察署との連携による交通教室を小学校13校で実施した。</p> <p>警察と連携して少年安全サポーターを配置し、巡回訪問や要請があった場合に学校を訪問するなど、学校安全体制の整備を支援した。</p> <p>また、学校への不審者の侵入や登下校時において不審者に遭遇した場合の安全確保のため、各小・中学校で実施している不審者対応訓練に少年安全サポーターとスクールガードリーダーが年1回ずつ参加し、指導助言を行った。</p> |     |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価  |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A   | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
| 評価                      | <p>学校による独自の交通教室を含め、新入学児対象の交通教室を警察との連携のもと実施することができ、就学に向けて交通安全の指導の充実を図ることができた。</p> <p>少年安全サポーターは、学校安全体制に大きく寄与している。不審者などの情報への対応も迅速かつ確実であり、日々の小・中学校の安全体制を積極的に支援できた。</p> <p>各小・中学校で実施されている不審者対応訓練においても、これまでの経験と専門性を生かした指導助言で大きな成果をあげた。</p>         |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | スクールガードリーダーの指導を生かし、各学校での日常の取組を充実させ、さらに児童生徒の自己管理能力と危機管理能力を向上させていくことが課題である。   |     |     |      |     |     |

|                         |  |  |  |  |  |
|-------------------------|--|--|--|--|--|
| 事務事業                    | 機能する危機管理体制の確立  |  |  |  |  |
| 事務事業概要                  | 各種安全教育研修会への参加促進など、教職員の危機管理能力の向上を図るとともに防府市メールサービスの活用促進等により危機管理体制の確立を図る。                             |  |  |  |  |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>土砂災害以外の津波を想定した災害危機管理研修会への参加等、様々な安全教育研修会への参加を継続的に促進していく必要がある。</p> <p>防府市メールサービスの有効な活用が求められる。</p> |  |  |  |  |

|                 |  |     |     |      |     |     |
|-----------------|--|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業実績          | <p>教職員に対し、県主催の自転車指導研修会や防府市防災危機管理課主催の土砂災害危機管理研修会等、各種安全教育研修会で研修させることができた。</p> <p>防府市内全ての小・中学校で学校から保護者への携帯メールによる情報配信システムが整備された。</p> |     |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                 | <p>各種安全教育研修の場を提供することができた。</p> <p>学校から保護者への携帯メールによる緊急時への対応体制が整備され、活用されている。</p>  |     |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | <p>交通安全やそれぞれの災害を想定した防災危機管理研修会への参加等、様々な安全教育研修会への参加を継続的に促進していく必要がある。</p> <p>防府市メールサービスの有効な活用が求められる。</p>                            |     |     |      |     |     |

|                 |   |     |     |      |     |     |
|-----------------|---|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | <b>地域・家庭と連携した学校安全体制の整備</b>  |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | <p>地域の関係団体や保護者との連携の強化による見守り活動等の充実や各地域におけるスクールガード組織の運営への積極的な支援を図る。</p> |     |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | <p>今後、さらに地域の関係団体や保護者との具体的かつ継続的な連携が求められる。</p>                          |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | <p>スクールガード組織への運営支援として、地域のスクールガードに安全ベストを配付する支援を行った。</p>                |     |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価  |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A   | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                 | <p>地域のスクールガードが主体的に見守り活動に取り組み、子どもたちの安全な登下校が確保された。</p>                  |     |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | <p>今後、さらに地域の関係団体や保護者との具体的かつ継続的な連携が求められる。</p>                          |     |     |      |     |     |

|          |   |  |  |  |  |  |
|----------|---|--|--|--|--|--|
| 学識経験者の意見 | <p>24の事務事業のうち23事業が総合評価、1事業がAAであり、良好な実績があがっていると認められる。ただし、AAの「情報教育の充実」事業は昨年もAAの評価を得ている。他事業と比べて評価のあり方に差がないかどうか、点検されるとよい。</p> |  |  |  |  |  |
|----------|---|--|--|--|--|--|

## 〔3〕生涯学習課

### ◎ 基本方針

地域活動に有効かつ機能的な体制づくりを行うとともに、市民・民間・行政が共同し一体となった社会教育活動の推進を図る。

### ◎魅力ある教育施設の整備と有効活用

#### (1) 公民館施設の充実

|                         |   |    |     |      |     |     |
|-------------------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | 公民館の整備  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 緊急度の高いところから外装・内装修繕工事を実施しており、当面の整備は終えているが、引き続き計画的に整備を進めていく。<br>公民館に設置されている輪転機設置費用の一部を助成することにより、公民館活動の推進を図る。                      |    |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 緊急度の高いところから、引き続き整備を進めていく。   |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 中関公民館舗装工事(H24. 11)、牟礼・華城公民館国旗掲揚台設置工事(H25. 3)を実施した。<br>公民館に設置されている輪転機設置費用の一部の助成(H24. 4～)を実施した。<br>経年劣化による施設・設備の修繕を15公民館において実施した。 |    |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A   | 12 | 3   | 3    | 3   | 3   |
| 各公民館の補修、改修はおおむね実施できた。   |   |    |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 緊急度の高いところから、引き続き整備を進めていく。   |    |     |      |     |     |

(2) 公会堂、文化福祉会館の改修、整備

|                         |  |     |     |      |     |     |
|-------------------------|--|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | 公会堂、文化福祉会館の改修、整備   |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | <p>1 公会堂の録音再生機器の更新</p> <p>2 文化福祉会館ガス漏れ警報機交換</p> <p>3 文化福祉会館夜間機械警備によるセキュリティ及び火災探知通報業務委託</p> <p>公会堂、文化福祉会館の耐震化を含めた将来構想について市長部局と調整を図りながら検討する。</p> |     |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>定期的な施設の整備が必要である。</p> <p>公会堂、文化福祉会館の耐震化を含めた将来構想について市長部局と調整を図りながら検討する。</p>  |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | <p>公会堂の録音再生機器の更新(H24. 7)を実施した。</p> <p>文化福祉会館ガス漏れ警報機交換(H24. 5)、夜間機械警備によるセキュリティ及び火災探知通報業務委託(H24. 6)を実施した。</p> <p>経年劣化による施設・設備の修繕を実施した。</p>       |     |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価   |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A  | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | 計画どおり、公会堂、文化福祉会館の改修、整備を実施することができ、市民や出演者が安全に施設を利用できるようになった。   |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>定期的な施設の整備が必要である。</p> <p>公会堂、文化福祉会館の耐震化を含めた将来構想について市長部局と調整を図りながら検討する。</p>  |     |     |      |     |     |

(3) 教育集会所の有効活用

|                         |   |  |  |  |  |  |
|-------------------------|---|--|--|--|--|--|
| 事務事業                    | 教育集会所の有効活用  |  |  |  |  |  |
| 事務事業概要                  | <p>市内3箇所(大日、北山手、右田)にある教育集会所において、人権に関する理解を深めるための社会教育活動を推進し、地域住民の文化及び福祉の増進を図る。</p>  |  |  |  |  |  |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>受講者の増を図る必要がある。</p>   |  |  |  |  |  |
| 事務事業実績                  | <p>大日会館では、華道、編物、ペン習字(子ども)、珠算を、北山手会館では、習字(大人、子ども)、華道、珠算の講座を実施した。また、右田福祉センターでは、編物(午前、午後)、和裁、華道を、牟礼福祉センターと宮市福祉センターでは、手話の講座を実施した。</p> |  |  |  |  |  |

|                         |  |           |     |      |     |     |
|-------------------------|--|-----------|-----|------|-----|-----|
| 評 価                     | 総合評価                                     |           | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | <b>B</b>                                 | <b>10</b> | 3   | 2    | 2   | 3   |
|                         | どの講座も予定どおり実施することができたが、受講者が思うほど増えなかった。    |           |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 受講者の増を図るとともに、講座の内容について検討することも必要な時期に来ている。 |           |     |      |     |     |

◎一人ひとりがきらめく生涯学習の推進

(1)生涯学習、社会教育及び青少年健全育成の推進

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 事務事業                    | 生涯学習及び社会教育の推進   |
| 事務事業概要                  | <p>1 市民自らが主体的に行なう生涯学習をより促進するため、第二次防府市生涯学習推進計画(学ぼうやプラン2)に基づく諸施策を実践する。</p> <p>(1) 各年齢期に応じた子育て講座やボランティア養成講座など具体的な事業に取り組み、家庭教育力の向上と地域教育力の活性化をめざす。</p> <p>(2) 近隣の大学・短大等との連携協働により、生涯学習を推進する。また、山口大学エクステンションセンターと教育委員会の連携協働に関する協定に基づく諸施策を推進する。</p> <p>(3) 市民の自主的・主体的な活動の発表の場である「生涯学習フェスティバル」の充実を図る。平成25年3月上旬、ルルサス防府とアスピラートで開催予定。(フェスタ・アスピラートと同時開催予定)</p> <p>(4) 生涯学習相談コーナーの充実を図り、市民自らが行なう生涯学習の支援や啓発に努める。また、生涯学習指導者バンク活用促進のため、バンク登録者が自ら企画・運営する「学ぼうやセミナー」を開催する。</p> <p>2 社会教育委員及び社会教育関係団体への活動支援や研修の充実を図り、より一層の社会教育の推進に努める。</p> |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 平成24年3月に策定された「第二次防府市生涯学習推進計画(学ぼうやプラン2)」に基づき、「豊かな学びでつながる人と地域が元気なまち防府」を基本理念とした3つの基本目標の実現を図るため、主要施策での諸事業の具体的な実践を進めていく必要がある。  |
| 事務事業実績                  | <p>1 第二次防府市生涯学習推進計画(学ぼうやプラン2)に基づき、次の諸事業を実施した。</p> <p>(1) 各年齢期に応じた子育て講座やボランティア養成講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学期子育て講座(16小学校各1回、1,053人)</li> <li>・思春期子育て講座(12中学校各1回、2,759人)</li> <li>・生涯学習ボランティア養成講座(3回、65人)</li> </ul> <p>(2) 近隣の大学・短大等との連携、山口大学エクステンションセンター</p>  |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>と教育委員会との連携協働に関する協定に基づく諸施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山口大学エクステンションセンターとの協定に基づき、生涯学習アドバイザー(長畑教授)の講演等や、生涯学習アドバイザー会議を実施した。</li> <li>・ 山口大学公開講座の実施(2講座、29人)</li> </ul> <p>(3) 生涯学習フェスティバルの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成25年3月3日にルルサス防府、アスピラートを会場に生涯学習フェスティバルを開催し、延べ4,082名の参加があった。</li> <li>・ 市民による実行委員会を立ち上げ、実行委員会を7回行った。</li> <li>・ (財)防府市文化振興財団及びフェスタ・アスピラート2013実行委員会主催のフェスタ・アスピラートと同時開催した。</li> </ul> <p>(4) 生涯学習相談コーナーの充実、生涯学習指導者バンク登録者による公開講座の開催</p> <p>生涯学習相談コーナーに生涯学習専門員を配置し、生涯学習相談に応じるとともに、生涯学習指導者バンクの活用を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生涯学習指導者バンク利用件数:68件</li> <li>・ 聞いて得するふるさと講座利用件数:44件</li> <li>・ 学ぼうやセミナー:夏季参加者数358人、春季参加者数243人</li> <li>・ わくわく学び塾の開催(4回、60人)</li> <li>・ ボランティア協働情報紙「まなぼらさぽーと」の発行(年6回)</li> <li>・ 子ども向け生涯学習情報紙「まなぼうやだより」の発行(年3回)</li> </ul> <p>※ 生涯学習指導者バンク～生涯学習に関する豊富な知識や経験、技能のある個人及び団体を指導者として登録していただき、自発的な学習活動を行おうとする市民(5人以上のグループ)に対して学習機会を提供する制度</p> <p>登録状況 個人95、団体44</p> <p>※ 学ぼうやセミナー、わくわく学び塾～生涯学習指導者バンク登録者による公開講座</p> <p>2 社会教育の推進</p> <p>(1) 社会教育委員(17名)の会議</p> <p>社会教育委員の会議(本会議2回・専門部会2回)及び研修会を2回開催し、調査・研究を行い、「防府市における学校・家庭・地域の連携・協働の具体的方策」を研究テーマとして、協議・検討を行った。</p> <p>(2) 社会教育関係団体への活動支援</p> <p>小・中学校PTA連合会や防府ユネスコ協会などの社会教育関係団体に対して助成を行い、社会教育活動の支援を行った。</p> |
|--|--|

|                         |   |     |     |      |     |     |
|-------------------------|---|-----|-----|------|-----|-----|
| 評 価                     | 総合評価  |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A   | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | 防府市生涯学習推進協議会において、生涯学習の関連施策の推進に関する事業計画を策定し、諸事業を実施し、「いつでも、どこでも、誰でも、学びたいことが学べる生涯学習社会」の実現に向けての取り組みができた。   |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 「第二次防府市生涯学習推進計画(学ぼうやプラン2)」に基づき、「豊かな学びでつながる人と地域が元気なまち防府」を基本理念とした3つの基本目標の実現を図るため、主要施策での諸事業の具体的な実践を進め、各施策に沿った取組の検証を行うことにより、効果的に施策を推進していく必要がある。 |     |     |      |     |     |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 事務事業                    | <b>青少年健全育成の推進</b>   |
| 事務事業概要                  | <p>1 青少年育成市民会議を主軸に、青少年関係諸団体の相互の連携を強化し、青少年に関わる諸事業(「家庭の日」運動等)を通じて、全市的な青少年健全育成の推進を図る。</p> <p>2 青少年育成センターと関係機関・諸団体との連携を強化し、補導・相談活動を行い、青少年の健全な保護育成に努める。</p>  |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>青少年が携帯電話による事件やトラブルに巻き込まれる事案が跡を絶たないため、関係機関・団体との連携を強化し、被害に遭わないよう諸事業に取り組んでいく。</p> <p>青少年育成センターや青少年補導員による青少年の補導人数は、ここ数年横ばい傾向にあるが、引き続き関係機関・団体と連携を強化し、補導活動の充実を図る。</p> <p>また、相談件数については、ここ数年増加傾向にあるが、青少年や保護者に対し相談活動の啓発を行い、引き続き青少年の保護育成を図っていく。</p>  |
| 事務事業実績                  | <p>1 青少年の健全な育成を図るため、主に次に掲げる事業を、防府市青少年育成市民会議において実施した。</p> <p>(1) 「社会を明るくする運動」「青少年の非行・被害防止運動」スピーチコンテストを実施した。</p> <p>とき 8月4日(土)</p> <p>ところ デザインプラザHOFU</p> <p>発表者 防府市内の中学生(各学校からの代表者)11名</p> <p>来場者数 298名</p> <p>7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」(内閣府主唱)及び「“社会を明るくする運動”強調月間」(法務省主唱)の啓発事業として実施した。</p> <p>(2) 「家庭の日」運動の推進のため、啓発用品を作製し配布した。</p> <p>チラシ 20,000枚</p> <p>ポスター 140枚</p> |

|   |  |          |            |      |      |     |     |
|---|--|----------|------------|------|------|-----|-----|
|   | <p>のぼり旗 120枚<br/> ポケットティッシュ 2,500個<br/> その他啓発活動<br/> 毎月1日号の市広報に「家庭の日」を掲載<br/> 広報誌「はばたき」(年2回発行)に掲載<br/> 生涯学習フェスティバルにおいて、「家庭の日」コーナーを設置して啓発活動を実施</p> <p>(3) 「家庭の日」運動推進地区活動支援事業を実施した。</p> <p>2 青少年育成センターにおいて補導・相談活動を実施し、青少年の健全な保護育成に努めた。</p> <p>(1) 街頭巡視活動<br/> 青少年の非行防止のための補導活動を実施するため、150名の補導員を委嘱している。<br/> 青少年育成センター指導員、所員による巡視活動や、防府警察署との合同巡視、各地区補導員による巡視・補導活動を延べ498回実施し、延べ2,375名が参加、142名を補導した。</p> <p>(2) 相談活動<br/> 青少年相談活動については、青少年育成センターに設置している「ヤングテレホン防府」による電話相談や来所相談を実施しており、年175件の相談を受けた。<br/> また、「ヤングテレホン防府」について、市広報等による啓発活動の実施や各小・中・高等学校へ周知を図った。</p> <p>(3) その他<br/> こども環境クリーンアップ活動などを実施し、環境浄化に努めた。</p> |          |            |      |      |     |     |
| <p>評 価</p>  | <table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> <td>到達度</td> <td>事業効果</td> <td>効率性</td> <td>方向性</td> </tr> </table>  | 総合評価     |            | 到達度  | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|   | 総合評価   |          | 到達度        | 事業効果 | 効率性  | 方向性 |     |
|   | <table border="1"> <tr> <td><b>A</b></td> <td><b>1 2</b></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table>   | <b>A</b> | <b>1 2</b> | 3    | 3    | 3   | 3   |
| <b>A</b>  | <b>1 2</b>   | 3        | 3          | 3    | 3    |     |     |
| <p>関係機関及び関係団体との緊密な連携のもと、青少年健全育成のための諸事業を実施することができた。</p> <p>また、「社会を明るくする運動」「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の啓発事業として、「第5回スピーチコンテスト」を実施した。</p> <p>今後も引き続き、防府市青少年育成市民会議を中心に、「家庭の日」運動を推進するとともに、青少年の健全育成活動に取り組んで行く。</p> <p>補導件数については、若干減少したが、学校・警察・関係機関・諸団体と連携を強化した。</p> <p>相談件数については、平成23年度と比較すると111件減少しているが、これは、前年度は継続した相談が特に多かったことが理由であり、平成22年度と同程度の件数に落ち着いている。相談のあった青少年や保護者に対しては、適切な指導・助言ができた。</p> <p>今後も、関係機関や諸団体及び各地区青少年補導員との連携を強化し、補導活動の充実を図るとともに、育成センターで実施している相談活動について周知する。</p> |  |          |            |      |      |     |     |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>青少年が携帯電話による事件やトラブルに巻き込まれる事案が跡を絶たないため、関係機関・団体との連携を強化し、被害に遭わないよう諸事業に取り組んでいく。</p> <p>青少年育成センターや青少年補導員による青少年の補導人数は、ここ数年横ばい傾向にあるが、引き続き関係機関・団体と連携を強化し、補導活動の充実を図る。</p> <p>また、相談件数は減少したが、青少年や保護者に対し相談活動の周知を継続して行い、引き続き青少年の保護育成を図っていく。</p> |
|-------------------------|--|

(2)放課後子ども教室推進事業の実施

|                         |  |           |     |      |     |     |
|-------------------------|--|-----------|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | <b>放課後子ども教室推進事業</b>  |           |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 放課後の子どもの安心・安全な居場所づくりとして小学校区単位での事業拡大を図る。  |           |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>放課後子ども教室は、開講後も事業の継続のためのきめ細かい行政支援が必要であり、各放課後子ども教室運営委員会への出席や、必要に応じて各教室との連絡調整を行っていく。また、活動のマナー化を防ぐためにコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員等の指導員に対する研修講座の充実を図る。</p> <p>新規に開講するにあたり、地域ボランティアの協力や活動場所の確保等、様々な課題があるため、関係機関・団体等との連携を図り、新規開講に向けて支援していく。</p>   |           |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | <p>平成19年度から国・県の補助を受け、放課後の子どもの安全で健やかな居場所づくりを目的に各地区において、次のとおり実施している。</p> <p>佐波放課後子ども教室(平成19年度から)<br/>         牟礼放課後子ども教室(平成19年度から)<br/>         華城放課後子ども教室(平成20年度から)<br/>         松崎放課後子ども教室(平成21年度から)<br/>         中関放課後子ども教室(平成22年度から)<br/>         玉祖放課後子ども教室(平成23年度から)<br/>         大道放課後子ども教室(平成24年度から)</p> |           |     |      |     |     |
| 評<br>価                  | 総合評価   |           | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | <b>A</b>   | <b>13</b> | 3   | 3    | 3   | 4   |
|                         | 佐波、牟礼、華城、松崎、中関、玉祖については、引き続き放課後子ども教室を実施し、大道において、新規の教室を開講した。   |           |     |      |     |     |

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| <p>平成24年度<br/>事業の課題<br/>・改善策</p> | <p>放課後子ども教室は、開講後も事業の継続のためのきめ細かい行政支援が必要であり、各放課後子ども教室運営委員会への出席や、必要に応じて各教室との連絡調整を行っていく。また、活動のマンネリ化を防ぐためにコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員等の指導員に対する研修講座の充実を図る。</p> <p>新規に開講するには、地域ボランティアの協力や活動場所の確保等、様々な課題があるため、関係機関・団体等との連携を図り、新規開講に向けて支援していく。</p> |
|----------------------------------|---|

(3) 学校支援地域本部事業の実施

|                                  |  |                   |            |             |            |            |
|----------------------------------|--|-------------------|------------|-------------|------------|------------|
| <p>事務事業</p>                      | <p>学校支援地域本部事業</p>  |                   |            |             |            |            |
| <p>事務事業概要</p>                    | <p>地域全体で学校教育をさせる体制を作り、学校支援ボランティアを活用した学校教育の充実と地域の教育力の活性化をめざす本事業を推進する。<br/>(H23年度～25年度:華西中学校支援地域本部)</p>  |                   |            |             |            |            |
| <p>平成23年度<br/>事業の課題<br/>・改善策</p> | <p>地域の教育力を学校支援に結びつけるため学校支援コーディネーターが華西中学校に勤務し、学校の実態を考慮し、教員の要望を聞きながら、地域ボランティア間の連絡調整を行っていく。また、ボランティアの資質向上やボランティア間のつながりを深めるために学校支援コーディネーター等に対する研修講座の充実を図る。</p> |                   |            |             |            |            |
| <p>事務事業実績</p>                    | <p>平成23年度から国・県の補助を受け、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するため、華西中学校に学校支援地域本部を設置し、学校支援コーディネーターが学校と学校支援ボランティア間の連絡調整等を行い、地域ぐるみで学校の支援活動を実施している。</p>                          |                   |            |             |            |            |
| <p>評価</p>                        | <p>総合評価</p>  |                   | <p>到達度</p> | <p>事業効果</p> | <p>効率性</p> | <p>方向性</p> |
|                                  | <p><b>A</b></p>  | <p><b>1 2</b></p> | <p>3</p>   | <p>3</p>    | <p>3</p>   | <p>3</p>   |
| <p>平成24年度<br/>事業の課題<br/>・改善策</p> | <p>地域の教育力を学校支援に結びつけるため学校支援コーディネーターが華西中学校に勤務し、学校の実態を考慮し、教員の要望を聞きながら、地域ボランティア間の連絡調整を行っていく。また、ボランティアの資質向上やボランティア間のつながりを深めるために学校支援コーディネーター等に対する研修講座の充実を図る。</p> |                   |            |             |            |            |

(4)人権学習の推進と啓発

|                 |   |            |     |      |     |     |
|-----------------|---|------------|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 人権学習の推進と啓発  |            |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | <p>1 人権学習推進市民会議を中心に講演会、市民セミナーを企画し、市民ぐるみの人権学習・啓発を促進する。</p> <p>2 人権学習推進委員の研修を充実し、地域、団体、職場等における学習機会の充実を図る。</p>   |            |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | <p>市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、人権感覚を育むため、市民セミナーや講演会により多くの市民の積極的な参加を得ることが大切である。</p> <p>人権学習推進委員の活動を積極的に支援するとともに、学習会や研修会の機会を増やしていきたい。</p>   |            |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | <p>1 防府市人権学習推進市民会議を中核として、市民、地域、団体、職場等と連携し、市民一人ひとりが人権尊重の理念について主体的に学び、人権意識の高揚を図ることを目的として、総会・セミナー・講演会を実施した。</p> <p><b>【実施事業】</b></p> <p>市民会議総会 260名</p> <p>市民セミナー 357名(4回)</p> <p>講演会 411名</p> <p>2 市内各地域、団体より選出された人権学習推進委員と連携し、さまざまな人権課題に対する正しい理解を深めるため、市内各地で研修会を111回実施した。また、これらの研修会に、人権学習指導員を103回派遣した。</p> |            |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価  |            | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | <b>A</b>  | <b>1 2</b> | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                 | <p>1 市広報、電光掲示板、防府市HP、校長会、PTA等での宣伝や市民会議常任委員・人権学習推進委員の活動成果により、予定どおりの参加人員を確保することができた。</p> <p>2 人権学習推進委員の協力により、所属する地域や学校、団体等において数多くの研修会を実施することができた。</p>   |            |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | <p>セミナーや講演会への参加者を増やすために、広報の方法を検討する必要がある。</p> <p>また、地域や企業、団体での人権学習会の開催数を増やすために、人権学習室のPRも増やす必要がある。</p>  |            |     |      |     |     |

◎郷土の伝統・文化の伝承と文化・芸術活動の支援

(1)文化・芸術等の振興

|                 |   |     |     |      |     |     |
|-----------------|---|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 文化・芸術及び科学教育の振興  |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 指定管理者である(公財)防府市文化振興財団と連絡・連携を密にし、管理運営の効率化を図るとともに、そのための指導助言をすることにより、多彩な事業展開を円滑に遂行させ、文化・芸術及び科学教育の振興を図る。                |     |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 施設利用者数の増加にむけて、市民が文化・芸術に関心を持つ機会と、拠点施設として多彩な行事を市民に提供する。   |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | (公財)防府市文化振興財団により、それぞれの事業を実施した。<br>音楽鑑賞事業 共催事業と合わせて11事業22公演を実施<br>美術鑑賞事業 企画展4回、美術鑑賞バス2回を実施<br>科学教育活動 特別・企画展や講演会などを開催 |     |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価  |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A   | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                 | 企画展・特別展に話題性の多い企画を実施したことにより、施設の年間利用者数が伸びるとともに、多くの市民に文化・芸術、科学教育に触れる機会が提供できた。  |     |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 文化・芸術活動として、多彩な行事を企画開催することで、より多くの市民に文化・芸術、科学教育に触れる機会を作る。   |     |     |      |     |     |

|                 |   |     |     |      |     |     |
|-----------------|---|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 文化・芸術活動の支援  |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 防府市文化協会を通じて、各文化団体の育成を図り、市民の文化・芸術活動を支援する。  |     |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 防府市文化祭7部門各団体の連携により開催し、団体相互の交流促進を図る。   |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 防府市文化協会を通じて、各文化団体の育成のため、市民の文化・芸術活動に対して、支援をするとともに、毎年恒例行事となる市民文化祭を開催した。           |     |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価  |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A   | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                 | 予定していたスケジュールで多くの市民の参加により、市民文化祭が開催できた。また、防府市文化協会の新規加盟について邦楽1団体、参加希望があり、組織力が向上した。 |     |     |      |     |     |

|                         |                                     |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 防府市文化協会への指導・支援を行うことにより、各文化団体の育成を図る。 |
|-------------------------|-------------------------------------|

|              |   |
|--------------|---|
| 学識経験者<br>の意見 | 10の事務事業のうち9事業が総合評価A、1事業がBであり、概ね良好な実績があがっていると認められる。総合評価Bであった「教育集会所の有効活用」については昨年度もB評価であり、講座内容や提供の仕方などを検討され、改善が進むことを期待したい。 |
|--------------|---|

## 〔4〕文化財課

### ◎ 基本方針

防府市は古代、周防国の国府が置かれ、周防の政治・経済・文化の中心として発展し、多くの歴史的遺産に恵まれている。これら市民の貴重な財産である文化財の調査、保護・保存、及び活用を行い、文化財保護意識の高揚と普及に努める。

### ◎魅力ある教育施設の整備と有効活用

#### (1)文化財保護意識の高揚と普及

|                 |  |           |          |          |          |          |
|-----------------|--|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 事務事業            | 防府市文化財郷土資料館の充実   |           |          |          |          |          |
| 事務事業概要          | 市民に防府の文化財に対する関心や、文化財保護への意識を高めてもらうため、防府市文化財郷土資料館において企画展を開催するほか、記念講演会や各種体験学習等の行事を行う。                             |           |          |          |          |          |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 企画展や講演会における来場者数を考えると、文化財に対する市民の関心は高いものがあると思われるため、今後も市民が郷土の文化財により親しめるような企画展や講座・講演会を開催したり、展示の充実を図る。              |           |          |          |          |          |
| 事務事業実績          | 平成24年度は、7月から8月にかけて常設展の展示換えを行なった。<br>【企画展】<br>企画展「防府と昭和の戦争」(平成24年11月20日～平成25年1月27日)<br>展示室の改装について、立案にむけ協議をはじめた。 |           |          |          |          |          |
| 評価              | 総合評価   |           | 到達度      | 事業効果     | 効率性      | 方向性      |
|                 | <b>B</b>   | <b>11</b> | <b>3</b> | <b>2</b> | <b>3</b> | <b>3</b> |
|                 | 企画展「防府と昭和の戦争」を開催したが、期待したほどの入館者はなかった。年間の入館数は2,092人と前年、前々年を上回った。<br>展示室を主とする館内の改装について協議を開始したが成案には至らなかった。         |           |          |          |          |          |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 市民が郷土の文化財により親しめるような企画展や講座・講演会を開催するが、広報活動を工夫、拡大して入館者数の増加をめざす。   |           |          |          |          |          |

◎郷土の伝統・文化の伝承と文化・芸術活動の支援

(1)文化財の保護・保存・活用

|                 |  |     |     |      |     |     |
|-----------------|--|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 三田尻御茶屋旧構内(英雲荘)の保存修理  |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 平成8年に始めた史跡萩往還関連遺跡である三田尻御茶屋の建物修理が終わったことに伴い、藩政時代の御茶屋の役割を学ぶ施設として平成23年9月から一般公開を行っている。平成24年度は貯水槽(防災設備)の設置及び庭園整備に必要な発掘調査を行う。                 |     |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 館内及び館外における便宜施設等の不備により、館の活用に支障が生じているため、今後は館内の老朽箇所及び、不足施設等を把握し、計画的に改修・配備していく。  |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 建物を火災から守るための設備として、屋外消火設備(放水銃等)を設計した。また、史跡内に残る庭園を保存整備するため、発掘調査(護岸の断面構造や、導水路ルート)の解明)を実施し、基本設計を行った。                                       |     |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 1 2 | 2   | 3    | 3   | 4   |
| 評価              | 防災施設建設予定地より地下遺構が発見されたため、平成24年度に予定していた工事を平成25年度に延期したが、三田尻御茶屋の調査、設計については、文化財保護の専門家や有識者で構成する「史跡萩往還三田尻御茶屋旧構内保存整備委員会」で十分協議・検討しながら進めることができた。 |     |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 庭園を含めた周辺整備を保存・整備していくうえで、研究成果と市民の要望をどのような形で反映させていくかが課題であるが、現地にて説明会等を開催し市民の要望等を取り入れて行きたい。  |     |     |      |     |     |

|                 |   |  |  |  |  |
|-----------------|---|--|--|--|--|
| 事務事業            | 史跡周防国衙跡公有地化事業   |  |  |  |  |
| 事務事業概要          | 昭和12年に国の史跡に指定された周防国衙跡について、土地の公有地化事業を昭和39年度から実施している。<br>昭和55年度からは、国府津(港)が設けられていたと考えられる船所・浜ノ宮や西北隅、大樋土手の公有地化を進めており、平成24年度は西北隅の一部を公有地化する。 |  |  |  |  |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 公有地化については、計画どおりに進んでいるが、今後は公有地化した土地の維持管理とともに、活用計画や整備計画を整えて行く必要がある。<br>また、引き続き市民には、公有地化事業についての理解を深めてもらうよう努める。                           |  |  |  |  |
| 事務事業実績          | 国衙西北隅一画の公有地化(惣社町668㎡)を買上げ、公有化率は88%となった。   |  |  |  |  |

|                 |   |    |     |      |     |     |
|-----------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 評 価             | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A   | 13 | 3   | 3    | 3   | 4   |
|                 | 所有者から早期購入の要望があり、契約交渉もスムーズに運ぶことができた。   |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 全国の国府跡の中では最も早く国の史跡に指定された「周防国衙跡」の地下遺構を保存・整備するため、整備計画や地権者の意向に配慮しながら史跡指定地の公有化を図る必要がある。 |    |     |      |     |     |

|                 |  |    |     |      |     |     |
|-----------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 指定文化財保存修理事業  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | <p>国宝や重要文化財等の保護・保存のため、所有者が実施する保存修理事業経費の一部補助を行う。</p> <p>平成24年度は、阿弥陀寺の湯屋防災施設設置事業を行う。</p>   |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 文化財に対する適切な保存修理方法の選択について、非常に判断が困難である。専門家や、専門機関との連携を密にしていかなければならない。また、今後も緊急性の高いものから、適正に保存修理を行っていく。   |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | <p>阿弥陀寺が行った、重要有形民俗文化財 阿弥陀寺の湯屋 防災施設設置事業に一部補助を行った。</p> <p>また、国分寺が行った、有形文化財(建造物)周防国分寺楼門保存修理事業に一部補助を行った。</p>   |    |     |      |     |     |
| 評 価             | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 14 | 4   | 3    | 3   | 4   |
|                 | <p>重要有形民俗文化財 阿弥陀寺の湯屋 防災施設設置事業は、冬季に凍結した時、正常に機能せず、交換する部品もないため、消火栓ポンプ取替工事を行った。</p> <p>有形文化財(建造物)周防国分寺楼門保存修理事業は、23～24年度の2ヵ年事業であるが、24年度の事業については、計画通り終了した。</p> |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | <p>文化財の保護や保存及び管理については、文化財保護法等の法令に基づいて行われるため、専門家や、専門機関との連携を密にしていかなければならない。</p> <p>また、今後も緊急性の高いものから、適正に保存修理を行っていく。</p>                                     |    |     |      |     |     |

|                 |   |           |          |          |          |          |
|-----------------|---|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 事務事業            | <b>周防国府跡ほか発掘調査</b>  |           |          |          |          |          |
| 事務事業概要          | <p>周防国府の実態を解明し、保存すべき地域の決定、史跡整備・保存への基礎資料とするため昭和47年度から発掘調査(計画調査)を実施している。</p> <p>平成24年度は、二町域内の重要遺構想定箇所を精査と、新たに船所・浜ノ宮地区について地下探査レーダーを使い、地下遺構の把握を行う。</p> <p>また、市内の各遺跡における開発との調整を図り、立会い調査や試掘確認調査を実施する。</p> |           |          |          |          |          |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | <p>開発に伴う試掘確認調査が増加傾向にある為、引き続き効率的に必要な情報を引き出す調査を模索し、報告書刊行業務については、今後も継続し予定通りに刊行しなければならないため、現場作業と並行しながら整理員・補助員を有効に活用し、室内の資料整理を進める必要がある。</p>  |           |          |          |          |          |
| 事務事業実績          | <p>史跡「周防国衙跡」二町域内での地中レーダー探査、発掘調査を同じ箇所で実施し、レーダー探査の成果と実際の発掘成果を比較検討することが出来た。</p> <p>市内遺跡での確認調査では9箇所の調査を実施し、それぞれ遺跡の情報を把握することが出来た。</p> <p>報告書については予定通り2冊刊行し、発掘調査の成果を公開・活用する資料を提供することが出来た。</p>             |           |          |          |          |          |
| 評価              | 総合評価  |           | 到達度      | 事業効果     | 効率性      | 方向性      |
|                 | <b>A</b>  | <b>13</b> | <b>3</b> | <b>3</b> | <b>3</b> | <b>4</b> |
|                 | <p>地中レーダー探査の有効性と弱点を把握することが出来た。今後、二町域再整備に向けての判断材料となる。</p>  |           |          |          |          |          |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | <p>今年度は、保存目的の発掘調査が出来なかったため、次年度は将来史跡指定を目指した調査地の選定と調査計画を立案する必要がある。また、史跡「周防国衙跡・二町域」での、政庁西限区画を確認する調査が必要となる。</p>   |           |          |          |          |          |

|                 |  |  |  |  |  |
|-----------------|--|--|--|--|--|
| 事務事業            | <b>指定文化財の保護管理及び未指定文化財の調査</b>   |  |  |  |  |
| 事務事業概要          | <p>指定文化財の巡視を行い、保護管理に努めるとともに、説明版の設置や取換などを行う。また、社寺所有の未指定文化財の悉皆調査を行い、記録を保存し報告書を作成する。</p>  |  |  |  |  |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | <p>指定文化財の保護管理状況については、文化財保護指導員の巡視により一定の把握はできている。今後は、指導員の巡視報告で指摘された事項について、より素早く対応を行う。また指導員の巡視だけでなく、職員自身も折にふれて巡視対象文化財の状況を確認するように努める。</p> <p>未指定文化財の悉皆調査については、現在週2回調査を行っているが、未調査の社寺も多く残っている。文化財の保護を進めていくうえで、今後も社寺を対象に引き続き調査を続け、未指定文化財のより詳細な把握に努める。</p> |  |  |  |  |

|                 |  |     |     |      |     |     |
|-----------------|--|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業実績          | <p>国や県、市指定文化財については、県・市がそれぞれ委嘱する文化財保護指導員が巡視し、毎月1回報告書を提出してもらった。</p> <p>未指定文化財については、市内の社寺を対象に文化財の調査等を行い、記録を保存している。なお、24年度は前年度に引き続き、製塩用具の調査報告書を作成したが、今回は重要有形民俗文化財に指定されているものだけでなく、未指定の用具を含めた形の報告書となった。</p>                      |     |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | <p>文化財保護指導員が市内の指定文化財を巡視して提出する報告書により、各文化財について常に状況把握ができ、適切な保護管理を行うことができた。</p> <p>前年度に引き続き製塩用具についての報告書を作成し、様々な情報を多くの人々に提供できるようになった。</p> <p>なお、平成24年度については、製塩用具の調査報告書に必要な追加調査、また図面作成や写真撮影を行ったため、社寺における未指定文化財の悉皆調査は実施しなかった。</p> |     |     |      |     |     |
|                 | <p>指定文化財の保護管理状況については、文化財保護指導員の巡視により一定の把握はできている。今後は報告で指摘された事項について、素早い対応を行う。また指導員の巡視だけでなく、職員も折にふれて巡視対象文化財の状況を確認するように努める。</p> <p>未指定文化財の悉皆調査については、未調査の社寺も多く残っており、調査をなるべく迅速に進めていく。なお平成25年度は、松崎地区において悉皆調査を再開する。</p>             |     |     |      |     |     |
| 学識経験者の意見        | <p>6つの事務事業のうち、5事業が総合評価A、1事業がBであり、概ね良好な実績があがっていると認められる。総合評価Bであった「防府市文化財郷土資料館の充実」については、昨年度もB評価であったが、入館者数は前年、前々年を上回っており、引き続き魅力ある展示や広報活動等に努めていただきたい。</p>   |     |     |      |     |     |

## 〔5〕スポーツ振興課

### ◎ 基本方針

健康でゆとりと生きがいに満ちた市民生活を送るために、スポーツ活動の果たすべき役割は極めて大きくなっている。

スポーツの推進、健康づくり、絆づくりのため、幅広い世代がスポーツと多様に関わることのできる機会を提供するとともに、市民が主体となった新たな生涯スポーツの仕組みづくりやスポーツボランティアの育成を進める。

また、スポーツ施設の計画的な整備、拡充と効率的な活用を図る。

### ◎魅力ある教育施設の整備と有効活用

#### (1) スポーツの拠点施設の充実と体育施設の整備

|                 |  |    |     |      |     |     |
|-----------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | プール建設事業  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 老朽化のため平成23年度から閉鎖している財団法人防府スポーツセンタープールに替わる市民プールの整備を進める。プール施設整備検討委員会からの提言を踏まえ、平成24年度中に基本・実施設計を、平成25年度に建設工事を実施し、平成26年シーズンからのオープンをめざす。 |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | —  |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 新プールの建設に向け、地質調査、基本・実施設計、旧プールの解体を実施した。  |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 12 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                 | 概ね計画どおりに進捗している。  |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 平成26年シーズンのオープンに向け、平成25年度中に建設工事を完了するとともに、運営開始に向けたマニュアル等の整備を行う。<br>スケジュールがタイトであるため、関係課との調整を十分に行い、円滑な運営に向けた準備を行う。                     |    |     |      |     |     |

|                         |   |    |     |      |     |     |
|-------------------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | ソルトアリーナ防府等体育施設の利用促進   |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | <p>スポーツ施設の更なる利用促進のため、指定管理者、財団法人防府スポーツセンター、スポーツ振興課が互いに連携し、様々なソフト事業を展開していく。</p> <p>なお、市の体育施設の管理運営については、民間の指定管理者が行っており、指定管理者が公の施設の設置目的を理解し、適正な管理運営や良好なサービスの提供を行うとともに、利用者ニーズを反映し更に喜んでいただける施設になるよう、きめ細かいモニタリングを実施する。</p> |    |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>国体開催により高まった市民のスポーツに対する興味が今後低下することが懸念されるが、誰でも気軽に参加できる新たなメニューを展開し、更なる利用者数増をめざす。</p>  |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | <p>指定管理者や財団法人防府スポーツセンターと連携し、幅広い市民を対象とした様々な教室、サークル、イベント等を、年間を通して開催し、体育施設の年間利用者数は、前年対比+29,715人の455,977人となった。</p> <p>また、指定管理者に対しては、毎月の定例会をはじめとするモニタリングを通して、利用者サービスの向上に向けた助言・指導を行った。</p>                                |    |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A   | 13 | 4   | 3    | 3   | 3   |
|                         | <p>国体終了により利用者数減が懸念されたが、年間利用者数は前年対比約7%増と大きく増加した。</p>   |    |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>市民だれもがスポーツに気軽に親しめる環境を目指し、親子向け、高齢者向け、初心者向けなど、幅広い市民を対象としたメニューの提供を引き続き推進する。</p>   |    |     |      |     |     |

### ◎生涯にわたるスポーツライフの確立と競技力の向上

#### (1)スポーツ推進計画の策定

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 事務事業                    | スポーツ推進計画の策定  |
| 事務事業概要                  | <p>スポーツ基本法により、地方公共団体はその地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めることとされており、防府市としては、平成24年度中に改定される山口県のスポーツ推進計画を参酌したうえで、平成25年度末を目途に策定する。</p> |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>平成25年度中の策定に向け、策定委員会の開催と市民アンケートの実施を平成24年度中に行う。</p>   |

|                 |  |     |     |      |     |     |
|-----------------|--|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業実績          | <p>防府市スポーツ推進計画策定委員会ならびに防府市スポーツ推進計画策定庁内委員会の設置・開催と、市民アンケートに基づく現状分析を実施し、計画案作成に着手した。</p> <p>防府市スポーツ推進計画策定委員会の開催 2回<br/>防府市スポーツ推進計画策定庁内委員会の開催 1回<br/>市民アンケートの実施（一般、小学生、中学生）</p> |     |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                 | <p>計画案については、趣旨～現状分析～基本方針までを作成し、概ね計画通りに進捗している。</p>  |     |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | <p>引き続き策定委員会等を開催し、計画案を策定する。また、広く意見を取り入れるため、パブリックコメントを実施し、平成25年度末までに計画の策定を完了する。</p>   |     |     |      |     |     |

## (2) 市民スポーツの普及

|                 |  |     |     |      |     |     |
|-----------------|--|-----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | スポーツ活動の推進とスポーツ団体の支援  |     |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | <p>平成23年3月に発足した防府市最初の総合型地域スポーツクラブである「コミュニティスポーツクラブ右田」の活動支援を継続するとともに、他地区においても新たなクラブの設立を促進する。</p> <p>また、スポーツ推進委員を中心に、地域に根ざしたスポーツ活動を推進するとともに、ニュースポーツの普及を推進する。</p>   |     |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | <p>国体開催により培われた人材や組織、市民のスポーツに対する興味を衰退させることのないよう、防府市開催の国体4競技を「我がまちスポーツ」として位置づけ、競技力向上や底辺拡大の各種イベントを重点的に実施する。</p>   |     |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | <p>スポーツ推進委員を中心とした市民向け行事、体育協会を中心とした競技スポーツ教室等、誰もがそれぞれの目的に応じたスポーツができる環境作りを進めるとともに、山口国体の防府市開催4種目を「我がまちスポーツ」として位置づけ、体育協会と協働で競技力向上や底辺拡大の各種イベントを開催した。</p> <p>総合型地域スポーツクラブについては、コミュニティスポーツクラブ右田の運営委員会に毎回参加し、必要に応じて情報提供などの支援を行った。</p> |     |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                 | <p>我がまちスポーツ推進事業の実施など、これまで以上に充実した事業を実施することができた。</p>   |     |     |      |     |     |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 総合型地域スポーツクラブについては、既設クラブの運営は順調に進んでいるものの、新たな地区でのクラブ設立には至っておらず、新規クラブ設立に向けた取組を進める必要がある。 |
|-------------------------|---|

(3)スポーツイベントの充実

|                         |  |    |     |      |     |     |
|-------------------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | 第43回防府読売マラソン大会   |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 史上最多の2,380人のエントリーをいただき盛大に開催することができた第42回大会の検証を踏まえ、第43回大会も「する」「観る」「支える」全ての面においてより充実した大会となるよう関係機関と連携しながら大会運営を進める。                                 |    |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 今後も参加者増が予測されるため、事前に関係機関と十分に協議を行い、万全な体制で大会を開催する。<br>特に、全国的に懸案事項となっている競技中の救護体制については、モバイルAED隊の配置等、体制の充実を行う。                                       |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 史上最多であった前回は更に756人上回る3,136人のエントリーをいただき、トラブルなく盛大に開催することができた。<br>モバイルAED隊については、市消防本部の協力も得ながら、3名×5班でコース内を自転車で巡回し、万一の事態に備える体制を整えた。                  |    |     |      |     |     |
| 評 価                     | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A  | 13 | 4   | 3    | 3   | 3   |
| 事務事業概要                  | 参加者増に伴う課題を事前に十分検討することで、大過なく開催することができた。また、急遽同日開催となった衆議院議員選挙に伴う走路警備体制の脆弱化等、急遽発生した課題についても、民間警備会社に業務委託を実施するなど、十分な事前対応を実施することができた。                  |    |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | ここ数年で参加者数が大幅に増加しているが、本大会のコースで3,000人規模の競技会を開催することは、限界に達している。「新人の登竜門」として競技性を重視した大会運営を維持するためにも、参加者がよりストレスなく競技に専念できる環境を整えるべく、何らかの参加人数制限を実施する必要がある。 |    |     |      |     |     |

|          |   |
|----------|---|
| 学識経験者の意見 | 5つの事務事業のすべてで総合評価Aの実績があがっており、良好な実績があがっていると認められる。特にソルトアリーナの利用者数と防府読売マラソンの参加者数はかなり増えており、今後はさらに質的充実をはかれることを期待したい。 |
|----------|---|

## 〔6〕 図書館

### ◎ 基本方針

情報・文化・生涯学習の拠点としての役割を認識し、利用者のニーズに的確に対応できるよう、図書資料・視聴覚資料の充実に努める。

また、移動図書館車の運行による、市内全域での幅広いサービスを推進するとともに、より一層親しまれる便利で快適な図書館利用環境の整備に努める。

子どもの読書活動の推進については、「防府市子ども読書活動推進計画」に基づき、関係機関との連携を図りながら、総合的・計画的な実施を図る。

### ◎ 魅力ある教育施設の整備と有効活用

#### (1) 図書館資料の質・量両面の充実

|                         |   |           |     |      |     |     |
|-------------------------|---|-----------|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | 新刊書籍・視聴覚資料等の充実・整備   |           |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づき、利用者ニーズに対応した資料の充実・整備に努める。  |           |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 貸出冊数・利用者数の増加につながる利用者ニーズの把握と、それへの的確な対応が必要である。  |           |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 図書を12,447冊、視聴覚資料を115点購入した。<br>別に図書1,178冊、視聴覚資料25点の寄贈を受けた。<br>※ 平成24年度末蔵書冊数・視聴覚資料点数<br>図        書    407,535冊(年間増 8,665冊)<br>視聴覚資料    7,819点(年間増 140点)<br>※ 平成24年度図書館資料整備費実績<br>図        書    22,522,913円<br>視聴覚資料    476,141円 |           |     |      |     |     |
| 評 価                     | 総合評価  |           | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | <b>A</b>  | <b>12</b> | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                         | 移動図書館や地域文庫の利用者のニーズにも対応した、資料の充実・整備を図ることができた。<br>利用者の予約・リクエストにも適正な対応ができた。   |           |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 新規利用者の開拓につながる潜在的ニーズの研究と、それへの的確な対応が必要である。  |           |     |      |     |     |

|                 |  |    |     |      |     |     |
|-----------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | <b>雑誌及び新聞の充実・整備</b>  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 雑誌・新聞のタイトル数維持に努め、利用者のニーズに対応した幅広い分野の資料の充実・整備を行う。  |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 限られた予算の中で、多様化する利用者ニーズへの適切な対応をしていく必要がある。  |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 新聞19紙、雑誌303誌を購入した。<br>※平成24年度図書館資料整備費実績<br>新聞等 586,161円<br>雑誌 2,922,643円<br>追録等 676,950円 |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A  | 12 | 3   | 3    | 3   | 3   |
|                 | リクエスト等を反映して、資料の充実・整備を図ることができた。   |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 休廃刊の雑誌等を迅速に補充して、多様な利用者ニーズへの適切な対応をしていく必要がある。  |    |     |      |     |     |

|                 |   |    |     |      |     |     |
|-----------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | <b>郷土(防府市・山口県)関連資料の充実・整備</b>  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 1 地域(郷土)資料、特に行政関係資料の充実に努める。<br>2 防府史料第62集を刊行し、ホームページに掲載する。  |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | 防府市の特性を生かした資料の収集、整理、保存、提供を行うために、行政サービス関係資料を中心に更なる充実を図る必要がある。<br>資料の電子化による保存・提供についても検討していく必要がある。                             |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 郷土関連資料については、110冊を購入し、別に367冊の寄贈を受けた。<br>防府史料第62集『大正五年九月 公爵毛利家防府邸新築竣成報告書』については、3月に製本史料10冊と電子データによる史料を刊行し、電子データ史料はホームページに掲載した。 |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A   | 13 | 3   | 3    | 4   | 3   |
|                 | 史料の電子データをホームページへ掲載することにより、国内外に情報を発信することができた。また、電子化した既刊の防府史料を県外の研究者の求めに応じて、提供することができた。                                       |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 資料及び資料リストの電子化・公開等による情報発信の強化を図る必要がある。  |    |     |      |     |     |

|                 |   |    |     |      |     |     |
|-----------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 春川市立図書館との資料交換事業   |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 姉妹都市春川市立図書館との資料交換協定に基づき韓国語の書籍収集に努める。  |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | —   |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 春川市立図書館から韓国語書籍100冊の寄贈を受け、整理して利用に供した。<br>防府図書館からも郷土作家関連書籍等100冊を春川市立図書館に寄贈した。 |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A   | 13 | 3   | 3    | 4   | 3   |
|                 | 韓国語資料の整理に語学ボランティアの協力を得て、より正確な書誌情報を作成することができた。また、受入から短期間で利用者に提供することもできた。     |    |     |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | これまでに受け入れた韓国語蔵書の書誌情報を点検・整備していく必要がある。  |    |     |      |     |     |

◎一人ひとりがきらめく生涯学習の推進

(1)市内全域サービスの充実

|                 |   |    |     |      |     |     |
|-----------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業            | 移動図書館車運行及び広告事業  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要          | 図書館から遠距離に居住する方、障害のある方、交通手段のない方等の、幅広い利用が推進できるよう、市内全域サービスの充実を目指す。また、ホームページや市広報等により、運行日程等の周知を図る。<br>また、移動図書館車後部扉2枚に広告枠を設置する広告事業を開始し、事業収入をもって図書館運営の充実を図る。 |    |     |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | ステーションの新たな設置・変更に関する要望への対応や、利用しやすい環境の整備等により、更なる利用拡大を図る必要がある。   |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績          | 利用状況や地域の要望により、3ステーションを増設し、3ステーションの変更を行った。<br>広告事業により、31,500円の事業収入があった。  |    |     |      |     |     |
| 評価              | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                 | A   | 13 | 3   | 3    | 4   | 3   |
|                 | 運行コースの利用者層に応じた図書構成や配架の工夫により、利用しやすい環境を作ることができた。  |    |     |      |     |     |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 各ステーションの利用しやすい時間帯と運行順の検証により、更なる利用拡大を図る必要がある。 |
|-------------------------|--|

|                         |  |           |     |      |     |     |
|-------------------------|--|-----------|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | <b>地域文庫利用促進事業</b>                                      |           |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 市内15か所の公民館等に設置している地域文庫の利用促進・管理運営の更なる適正化を図る。            |           |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | —  |           |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 各文庫に200冊ずつ年4回配本を行った。<br>延べ753人の貸出利用者があり、1,592冊の貸出を行った。 |           |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価   |           | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | <b>A</b>   | <b>13</b> | 3   | 3    | 4   | 3   |
|                         | 本館や移動図書館で借りた図書の返却受付や、リクエスト対応の拡大により、利便性を高めることができた。      |           |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 地域文庫の特性を生かした活用方法やサービスの充実により、利用の拡大を図る必要がある。             |           |     |      |     |     |

## (2) 図書館運営業務の民間活力の活用

|                         |  |           |     |      |     |     |
|-------------------------|--|-----------|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | <b>図書館運営への市民参画推進事業</b>   |           |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 行事運営等について、ボランティア等との協働を推進し、図書館運営への市民参画及びサービスの向上を図る。   |           |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 図書館とボランティア等とが連携を密にし、個々の活動の活性化と図書館サービスの向上が図れるよう、更なる協働体制の推進が必要である。   |           |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 防府市子ども読書フェスティバル、防府図書館まつりについては、図書館内生涯学習グループなどの民間団体やボランティアが主体となった実行委員会形式で、企画・立案・管理・運営を行った。<br>その他の図書館行事も、図書館内生涯学習グループやボランティアと図書館とが連携・協力して実施した。 |           |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価   |           | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | <b>A</b>   | <b>13</b> | 3   | 3    | 3   | 4   |
|                         | 図書館内生涯学習グループ等の積極的な協力を得て、図書館運営への市民参画を推進することができた。  |           |     |      |     |     |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 図書館とボランティア等とが連携を密にして、活動や成果を発表する場の提供などにより、グループの活性化と図書館サービスの向上が図れるよう、更なる協働体制の推進が必要である。 |
|-------------------------|--|

### (3) 学校図書館とのネットワーク化の推進

|                         |  |    |     |      |     |     |
|-------------------------|--|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | 学校図書館管理運営システム導入事業  |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | <p>将来の市立図書館と学校図書館とのネットワークシステム構築による資料の共有化と有効活用を目指し、学校図書館管理システムを導入して、管理の適正化と調べ学習等における利用の活性化を図る。</p> <p>今年度は、過去3年間の市内全校統一仕様による蔵書データ整備の蓄積を元に、小学校2校をモデル校として、学校図書館管理システムの運用を2学期から開始する。</p> |    |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>学校図書館旧蔵書のデータ入力と、バーコード・背ラベルの作成・貼付が完了したことを受け、平成24年度から学校図書館管理システムをモデル校方式で導入し、運用を開始する。平成24年度は2校を選定する。</p> <p>適正・円滑な選定をし、確実な導入効果をあげていくためには、学校を始め関係各課等と連携・協力を図りながら、取り組む必要がある。</p>       |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | 過去3年間の市内全校統一仕様による蔵書データ整備の蓄積を元に、牟礼小学校と大道小学校の2校をモデル校として、11月から学校図書館管理システムの運用を開始した。  |    |     |      |     |     |
| 評価                      | 総合評価   |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A  | 14 | 3   | 3    | 4   | 4   |
|                         | 学校図書館管理システムを導入した学校では、図書の検索が可能になり、資料の有効活用が図れるようになった。  |    |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>平成25年度は学校図書館管理システムを全小学校に導入する。</p> <p>学校図書館司書やボランティアと協力して、図書管理の適正化と利用の活性化を図る必要がある。</p>   |    |     |      |     |     |

### (4) 集会・文化活動及び広報活動の推進

|                         |   |  |  |  |  |  |
|-------------------------|---|--|--|--|--|--|
| 事務事業                    | 集会・文化活動推進事業   |  |  |  |  |  |
| 事務事業概要                  | <p>企画展示を含む集会・文化行事、図書館資料を活用する生涯学習グループの奨励・育成、図書館ボランティアの養成等の業務を推進・拡大し、図書館の多角的な利用促進を図る。</p> |  |  |  |  |  |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>防府市子ども読書活動推進連絡協議会の関係部署・機関・団体とも連携を図り、集会・文化活動の輪を図書館の外へも広げていくことが求められる。</p>              |  |  |  |  |  |

|                 |   |            |      |     |     |
|-----------------|---|------------|------|-----|-----|
| 事務事業実績          | <p>毎月定例の行事・資料展示のほか、特別企画展示、調べ学習セミナー、夏休み古典文学講演会、おはなしボランティア養成講座等を開催した。</p> <p>6月10日(土)開催の第2回防府市子ども読書フェスティバルは、子どもの読書に関する講演会及び読書活動・生涯学習活動紹介を中心に行った。</p> <p>10月20日(土)開催の防府図書館まつりは、愛情防府フリーマーケットの一環行事として実施し、図書館サークル活動展示や移動図書館車による貸出サービスなどを行った。</p> <p>図書館内生涯学習グループ40団体は、定例活動や講演会・講習会開催等活発な活動を展開し、図書館は、その奨励・育成に努めた。</p> <p>図書館お話ボランティア養成講座では、実績と評価のある講師を招聘し、密度の濃い研修会を実施した。</p> |            |      |     |     |
|                 | 総合評価  | 到達度        | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
| 評価              | <b>A</b>  | <b>1 2</b> | 3    | 3   | 3   |
|                 | <p>図書館内生涯学習グループの活動が活性化し、新しいグループや活動の拡大が見られた。</p> <p>図書館職員が学習グループの集会等に参加して、情報交換や助言を行った。</p>   |            |      |     |     |
| 平成24年度事業の課題・改善策 | 読書や図書館利用の啓発につながる文化活動を拡充する必要がある。   |            |      |     |     |

|                 |  |            |      |     |     |
|-----------------|--|------------|------|-----|-----|
| 事務事業            | <b>広報活動推進事業</b>  |            |      |     |     |
| 事務事業概要          | 広報活動について、ホームページの内容充実、各種報道メディア等の活用を通し、積極的な情報発信を行う。  |            |      |     |     |
| 平成23年度事業の課題・改善策 | ホームページの更なる充実に努め、情報発信量を増やしていく必要がある。   |            |      |     |     |
| 事務事業実績          | <p>「ほうふ図書館だより」、「としょかんこどもしんぶん」、「新刊紹介」を毎月発行した。</p> <p>行事毎に案内、チラシ等を作成し、日常的なサービスについても利用案内・図書館カレンダー等を作成・更新し、利用者の便に供した。</p> <p>「図書館年報」を発行した。</p> <p>ホームページへの掲載記事についても、専門の担当職員を決めて、内容の充実に努め、随時更新した。</p> |            |      |     |     |
|                 | 総合評価   | 到達度        | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
| 評価              | <b>A</b>   | <b>1 3</b> | 3    | 3   | 4   |
|                 | <p>ホームページの機能や内容の充実により、アクセス数が倍増した。</p> <p>市広報や館報・利用案内その他チラシ等を効果的に活用できた。</p>   |            |      |     |     |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 市の情報センターとして、学校や市役所各課にも図書館を活用してもらえ<br>るように、情報提供をしていく必要がある。 |
|-------------------------|---|

#### (5) 図書館コンピュータシステムの効果的・効率的な運用

|                         |   |    |     |      |     |     |
|-------------------------|---|----|-----|------|-----|-----|
| 事務事業                    | 図書館コンピュータシステム運用事業   |    |     |      |     |     |
| 事務事業概要                  | 図書館コンピュータシステムの効果的・効率的な運用により、更なる図書館<br>サービスの向上を図る。特に検索システムの整備・充実に努め、図書館利用<br>の促進を図る。 |    |     |      |     |     |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | —   |    |     |      |     |     |
| 事務事業実績                  | ホームページからの貸出期間延長機能を追加した。<br>郷土資料等の書誌情報を充実し、多面的な検索や内容確認を可能にし<br>た。                    |    |     |      |     |     |
| 評<br>価                  | 総合評価  |    | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|                         | A   | 13 | 3   | 3    | 4   | 3   |
|                         | 移動図書館システムの運用方法や本館システムとの連携を工夫し、利用<br>者の利便性向上につなげることができた。                             |    |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | ホームページの内容やデザインを工夫して、スマートフォン等でも利用し<br>やすいものにしていく必要がある。                               |    |     |      |     |     |

#### (6) 子どもの読書活動の推進

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 事務事業                    | 「防府市子ども読書活動推進計画」の実施   |
| 事務事業概要                  | 市の関係各課、小・中学校及び関係諸機関等との連携を図り、子どもの読<br>書活動を推進する。  |
| 平成23年度<br>事業の課題<br>・改善策 | 防府市子ども読書活動推進連絡協議会における年度ごとの点検・評価<br>をもとに、更なる成果をあげていくことが求められる。  |
| 事務事業実績                  | 7月6日(金)と11月26日(月)の2回、防府市子ども読書活動推進連絡協<br>議会を開催した。市の関係各課及び関係諸団体等の、子ども読書活動推進<br>に係る実施状況及び事業予定について予め調査を実施し、協議会において<br>報告・協議を行った。<br>小・中学校の図書館関係者と教育委員会関係課との連絡会議を開催し<br>た。 |

|                         | 総合評価  |     | 到達度 | 事業効果 | 効率性 | 方向性 |
|-------------------------|---|-----|-----|------|-----|-----|
|                         | A   | 1 2 | 3   | 3    | 3   | 3   |
| 評価                      | <p>防府市子ども読書活動推進連絡協議会における調査・報告・協議等を重ねることにより、各団体・機関間の情報共有や連携が図られてきた。</p> <p>小・中学校の図書館関係者と教育委員会関係課との連絡会議で提起された課題をそれぞれの取組に反映することができた。</p> |     |     |      |     |     |
| 平成24年度<br>事業の課題<br>・改善策 | <p>防府市子ども読書活動推進連絡協議会における年度ごとの点検・評価をもとに、関係機関の連携を密にして、更なる成果をあげていくことが求められる。</p>  |     |     |      |     |     |

|          |  |
|----------|--|
| 学識経験者の意見 | <p>12の事務事業について、いずれも総合評価Aの実績があがっており、良好な実績があがっていると認められる。学校図書館管理システムの全小学校への導入、利用しやすい図書館コンピュータシステムの推進などを通して、市民の読書環境がますます向上するよう努めていただきたい。</p> |
|----------|--|

## ■ 学識経験者の総評

教育委員会の点検・評価に関して、客観性を確保するため、下記のとおり学識経験を有する方の御意見をいただきました。

この意見については、今後の教育委員会所管施策や点検・評価に生かしていくこととしました。

### 【学識経験者】

山口大学教育学部 佐々木 司 教授

### 【意見】

防府市の教育が今後ますます発展していくことを願って、「教育行政点検・評価報告書(対象:平成24年度事業)」について意見を述べさせていただく。

本報告書では、61の事務事業が点検・評価の対象になっている。うち58事業が総合評価で「A」、1事業が「AA」、2事業が「B」である。ほぼすべての事業で「良好」以上の成果をおさめていることから、防府市の教育行政の堅実ぶりが見てとれる。

ただ、総合評価Bとなった2事業、すなわち「教育集会所の有効活用」と「防府市文化財郷土資料館の充実」については、23年度評価でもB評価であった。事業内容によっては、短期間で改善しにくいものもあると思うが、次年度に向けて、具体的な策を講じられることを期待したい。この2事業は、いずれも内容や広報活動の充実が課題になると思うが、利用者から見て活用しにくい、あるいは参加しにくい理由があることも考えられる。それらを分析し、今後活かされるのがよいように思われる。

他方、総合評価でAAという素晴らしい結果を得たのが「情報教育の充実」事業である。この事業は23年度においても「AA」評価であり、記述からは、もしかしたら他事業と比較して評価基準が異なるような印象も受けた。

「A」評価以外の評価を得た3事業が、前年度と同じ評価になっているのはなぜか、という点について検討され、それが今後の点検・評価に活かされれば、防府市の教育はますます充実したものになると考えられる。

防府市の教育行政は、派手さはないかもしれないが着実に進歩していると認められる。今度ますますの発展を期待したい。